

SAMSUNG

ユーザー マニュアル

OH75A

色と外観は製品によって異なる場合があります、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

目次

ご使用になる前に

安全のために	6
安全に関する記号	6
電気に関する注意事項	7
設置の際の注意事項	8
ご使用の際の注意事項	9
お手入れに関する注意事項	11
保管時	11

準備

内容物の確認	12
部品	12
各部	13
前方	13
背面	14
リモコン	15
製品の設置前に（設置ガイド）	17
縦向きと横向きの切り替え	17
換気	17
ウォール マウントの仕様	18

リモコン（RS232C）	19
ケーブル接続	19
接続	22
制御コード	23

入力信号デバイスの接続と使用

接続の前に	31
接続前のチェックポイント	31
ケーブルを接続する前に	32
電源ケーブル接続ガイド	33
PC との接続	34
HDMI ケーブルを使用した接続	34
HDMI-DVI ケーブルを使用した接続	34
DP ケーブルを使用した接続	35
ビデオ機器との接続	36
HDMI-DVI ケーブルを使用した接続	36
HDMI ケーブルを使用した接続	36
オーディオ システムに接続する	37
LAN ケーブルの接続	37
入力ソースを変更する	38
入力ソース	38
Web Browser	39
Screen Mirroring	41
Samsung Workspace	41

MDC の使用

MDC プログラムのインストール / アンインストール	42
設置の際の注意事項	42
アンインストール	42
MDC の接続	43
RS-232C（シリアル データ通信標準規格）による MDC の使用	43
イーサネットによる MDC の使用	44

プレーヤー 機能

プレーヤー	45
コンテンツの表示	45
コンテンツ実行時	46
利用可能なメニュー	46
プレーヤー と互換性のあるファイル形式	47
スケジュール	51
クローン製品	52
ID 設定	53
機器 ID	53
PC 接続ケーブル	53

目次

画像分割	54
画像分割	54
水平方向 x 垂直方向	54
画面の位置	55
フォーマット	55
ネットワーク ステータス	55
オン/オフタイマー	56
オンタイマー	56
オフタイマー	57
休日の管理	57
ティッカー	57
URL 起動ツール	58
URL起動ツール設定	58

画面調整

バックライト / 明るさ / コントラスト / シャープネス	59
色温度	60
詳細設定	61

映像エンハンサー	61
色の濃さ	61
色合い	61
ホワイト バランス	62
ガンマ	62
コントラスト エンハンサ	62
色深度 (黒)	62
鮮明	63
RGB のみモード	63
色空間の設定	63
入力信号の拡張	63
動画画面の明るさ調節	63
映像オプション	64
色調	64
デジタル クリーン ビュー	64
HDMI 階調レベル	64
フィルム モード	64
Auto Motion Plus の設定	64
ローカル ディミング	65
ダイナミック ピーキング	65
映像の設定を適用	66
映像サイズの設定	67
画像サイズ	67
画面に合わせる	67
ズームと位置	67
映像のリセット	68

オンスクリーン表示

画面の向き	69
オンスクリーン メニューの向き	69
入力ソース コンテンツの向き	69
アスペクト比	69
画像保護	70
自動保護起動時間	70
画像焼き付き保護	70
メッセージ表示	71
ソース情報	71
信号メッセージなし	71
MDC メッセージ	71
ダウンロード状態のメッセージ	71
言語	72
オンスクリーン表示をリセット	72

目次

ネットワーク

ネットワーク ステータス	73
ネットワーク設定を開く	73
ネットワーク設定（有線）	74
サーバー ネットワーク設定	77
サーバーに接続	77
MagicInfo モード	77
サーバー アクセス	77
FTP モード	77
プロキシ サーバー	77
デバイス名	77

システム

アクセシビリティ	78
音声ガイドの設定	78
ハイ コントラスト	79
拡大	79

セットアップの開始	79
時刻	80
現在時刻設定	80
NTP 設定	80
DST	80
電源オン遅延	80
入力ソース自動切り替え	81
入力ソース自動切り替え	81
プライマリ入力復元	81
プライマリ入力	81
セカンダリ 入力	81
デフォルト入力	81
電源制御	82
自動電源オン	82
省電力（最大）	82
スタンバイ制御	82
リモート設定	83
電源ボタン	83
エコ ソリューション	84
輝度の制限	84
省電力モード	84
エコ センサー	84
画面ランプ スケジュール	85
無信号電源オフ	85
自動電源オフ	85

ファンの設定	86
ファン制御	86
ファン速度の設定	86
屋外モード	86
再生手段	87
PIN の変更	87
セキュリティ	88
安全ロックをオン	88
画面モニターのロック	88
USB 自動再生ロック	89
リモート管理	89
セキュリティで保護されたプロトコル	89
サーバーのセキュリティ ステータス	89
ネットワーク ロック	89
USB ロック	89
一般情報	90
スマート セキュリティ	90
Anynet+ (HDMI-CEC)	90
HDMI ホット プラグ	92
カスタム ロゴ	92
ゲーム モード	93
空のストレージ	93
システムのリセット	93

目次

サポート

ソフトウェア更新	94
今すぐ更新	94
Samsung 連絡先	94
すべてリセット	94

トラブルシューティング ガイド

サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルに お問い合わせいただく前に行っていただきた いこと	95
製品のテスト	95
解像度と周波数の確認	95
症状別 確認事項。	96
Q & A	101

仕様

全般	103
プリセット タイミング モード	105

付録

サムスン製品に関するお問合せ	108
有料サービスに関する責任（お客様の負担）	109
製品に異常がない場合	109
お客様の過失によって製品が損傷した場合	109
その他	109
残像の焼き付き防止	110
残像の焼き付きとは?	110
推奨される防止策	110
ライセンス	111
用語	112





第 1 章

ご使用になる前に

安全のために

以下の安全に関する注意事項は、怪我や器物の破損を避けるためのものです。以下をお読みにになり、製品を正しく使用してください。







安全に関する記号

記号	名前	意味
	警告	指示に従わない場合には、重傷または死亡事故の原因となる場合があります。
	注意	指示に従わない場合には、ケガまたは物損事故の原因となる場合があります。
	禁止	行なわないでください。
	指示	指示に従ってください。

注意

感電する危険があります。開けないでください。

注意: 感電の危険をなくすため、カバー（または背面）を外さないでください。内部には、ユーザーが対応可能な部品はありません。修理はすべて正規の修理業者にご依頼ください。

	この記号は、内部が高電圧であることを示しています。この製品の内部部品に触れると危険です。		AC 電圧: この記号が示す定格電圧は AC 電圧です。
	この記号は、操作とメンテナンスに関する重要な文書がこの製品に付属していることを示しています。		DC 電圧: この記号が示す定格電圧は DC 電圧です。
	クラス II 製品: この記号は、アースを取る必要がないことを表しています。電源のリード線を持つ製品にこの記号の表示がない場合、製品を保護アース（グランド）に確実に接続する必要があります。		注意。操作指示書の参照: この記号は、安全に関する詳細情報に関して、ユーザー マニュアルを参照するようにユーザーに指示するためのものです。

電気に関する注意事項

警告

破損した電源コードまたはプラグ、あるいはがたつきのある電源ソケットを使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

複数の製品をひとつの電源ソケットで使用しないでください。

- 電源ソケットが過熱し火災が発生することがあります。

濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはグラグラしないよう最後まで差し込んでください。

- しっかりと接続していない場合、火災の原因となることがあります。

電源プラグは、アースされた電源ソケットに接続してください（絶縁クラス 1 の機器のみ）。

- 感電またはケガの原因となることがあります。

電源ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。または重い物を載せた状態にしないでください。

- コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。

電源コードや製品を熱源の近くに置かないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。

電源プラグの先端や電源ソケットに付いたほこりは、乾いた布で取り除いてください。

- 火災の原因となることがあります。

注意

製品の使用中に電源コードを抜かないでください。

- 感電により製品が破損することがあります。

Samsung が提供している付属の電源コードを必ず使用してください。他の電気機器には使用しないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。

電源コードは、遮るものがない場所にある電源ソケットに接続してください。

- 問題が発生した場合は、電源コードを抜いて製品の電源をオフにする必要があります。
- 遠隔の電源ボタンだけでは、製品の電源を完全にオフにすることはできませんのでご注意ください。

電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持ってください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

設置の際の注意事項

警告

ろうそく、虫除けまたはタバコを製品の上に置いたり、製品を熱源の近くに設置したりしないでください。

- 火災の原因となることがあります。

製品を壁に設置する場合は、専門の取付業者にご依頼ください。

- 無資格で取り付けを行うと、ケガの原因となることがあります。
- 認可されているキャビネットを必ず使用してください。

製品を本棚やクローゼットなどの換気の悪い場所に設置しないでください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

製品を設置する際には、換気を良くするように壁との間に距離を取ってください。

― 屋外設置ガイドを参照してください。(http://displaysolutions.samsung.com)

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

梱包用のビニール袋は、お子様の手の届かないところに置いてください。

- お子様が生息することがあります。

安定しないまたは振動する場所（不安定な棚、傾斜面など）に製品を設置しないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品が破損したり火災の原因となることがあります。

製品をお子様の手の届くところに設置しないでください。

- 製品が落下してお子様のケガの原因となることがあります。
- 製品の前部は重いため、水平で安定した面に設置してください。

食用油（大豆油など）を使用すると、製品の破損や変形の原因となります。製品をキッチンやキッチンカウンターの近くに設置しないでください。

取り付け時および保管時の注意事項

- カバーを開けたら、湿度 60% 以下の条件で 1 時間以内に製品を取り付けてください。(ページ 32)
- カバーを開けたりハウジングを組み立てる際は（外部装置の接続、F/W 更新など）、所定の湿度を保ってください。
- 製品を運搬および保管する際は必ずカバーを取り付けてください。

注意

製品を移動させるときは落下に十分ご注意ください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

製品の前面を下にして置かないでください。

- 画面が破損することがあります。

製品をキャビネットや棚に設置するときには、製品の前面下側がはみ出ないようにしてください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットや棚に設置してください。

製品を置くときは丁寧に置いてください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

異常な周辺環境に製品を設置すると、品質に深刻な問題が起こることがあります。このため、製品を設置する際には、必ず事前にサムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。

- 細塵が発生する場所、化学物質を使用する場所、極めて高温または低温の場所、湿気や水気の多い場所、車両、空港、駅などの輸送設備での継続的な使用など。

ご使用の際の注意事項

警告

製品内部は高電圧になっています。製品の分解、修理または改造は絶対に行わないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。
- 修理が必要な場合は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでお問い合わせください。

製品から異音、焦げくさい臭い、または煙が発生した場合は、直ちに電源コードを抜いてサムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

お子様が製品にぶら下がったりよじ登ったりしないようにしてください。

- お子様のケガや場合によっては重傷の原因となることがあります。

重い物や、お子様のお気に入りの玩具や菓子などを製品の上に置かないでください。

- お子様がこれらの玩具や菓子を取ろうとして重い物や製品自体が落下し、重傷の原因となることがあります。

製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。

電源コードなどのケーブルを使用して製品を引っ張らないでください。

- ケーブルが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

ガス漏れが発生した場合は、製品および電源プラグに触れないようにして、直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生して、爆発または火災の原因となることがあります。

電源コードやその他のケーブルを引っ張って製品を持ち上げたり移動させたりしないでください。

- ケーブルが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

可燃性のスプレーや物を製品の近くで使用したり、製品の近くに置いたりしないでください。

- 爆発または火災の原因となることがあります。

テーブルクロスやカーテンで通気口を塞がないようにしてください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

金属性の物（箸、硬貨、ヘアピンなど）や可燃物（紙、マッチなど）を、通気口や入出力ポートなどから製品内に入れないでください。

- 水やその他の異物が製品内に入ったときには、電源をオフにし、電源コードを抜いてください。サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

製品の通気口を塞がないでください。過熱により製品が正しく機能しなくなることがあります。

通気口に指や物を入れないでください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

注意

静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因になることがあります。

- 長期間にわたって本製品を使用しない場合は、省電力モードをオンにするか動画のスクリーンセーバーを設定してください。

休眠などで長期間製品を使用しない場合には、電源コードを電源ソケットから外してください。

- ほこりの堆積と温度上昇により、火災、感電または漏電が発生することがあります。

製品に適した解像度および周波数を使用してください。

- 視力低下の原因となることがあります。

スタンドを持って本製品を上下逆にしたり移動させたりしないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。

画面を近すぎる位置から長期間見続けると、視力が低下することがあります。

製品を使用するときには、1 時間ごとに 5 分以上は目を休めるようにしてください。

- 疲れ目が緩和されます。

電源を長時間オンの状態にするとディスプレイが高温になるため、ディスプレイには触れないようにしてください。

細かな付属品は、お子様の手の届かないところに保管してください。

製品の角度やスタンドの高さを調整するときにはご注意ください。

- 手や指が挟まれてケガをすることがあります。
- 製品を傾け過ぎると、製品が落下したり、ケガの原因となることがあります。

製品の上に重い物を置かないでください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

ヘッドフォンまたはイヤフォンを使用するときは、音量を大きくしすぎないようにしてください。

- 音が大きすぎると、聴覚に影響を与えることがあります。

リモコンから電池を取り外したときには、お子様が電池を口の中に入れてないようにしてください。電池は、子供または乳児の手の届かない場所に置いてください。

- お子様が電池を口の中に入れたときには、すぐに医師の診察を受けてください。

電池を交換するときには、正しい極性（+、-）の向きに入れてください。

- 電池が破損したり、液漏れにより火災、傷害または故障の原因となることがあります。

指定された標準の電池のみを使用し、新しい電池と使用済みの電池を混在して使用しないでください。

- 電池が破損したり、液漏れにより火災、けがまたは故障の原因となることがあります。

バッテリー（および充電式バッテリー）は通常の廃棄物ではなく、リサイクルするために返送する必要があります。お客様は使用済みバッテリーまたは充電式バッテリーをリサイクルのために返送する必要があります。

- お客様は、使用済みの充電式バッテリーを公共のリサイクルセンターまたは同じタイプのバッテリーおよび充電式バッテリーを販売している店舗に返送することができます。

お手入れに関する注意事項

- ― 高度 LCD のパネルおよび外装はキズが付きやすいため、清掃の際はご注意ください。
- ― 清掃は、次の手順で行ってください。

1 本製品と PC の電源をオフにします。

2 本製品から電源コードを外します。

- ― 電源コードはプラグ部分を持ち、濡れた手でコードに触れないでください。感電の原因となることがあります。

3 水と乾いた布を使用して保護ガラスを拭いてください。

- きれいな濡れた布で拭いてください。

- ― 頑固な汚れを落とすには、布にエタノール系の洗浄剤を少しつけて拭きます。

ブラシを使用して吸気口と排気口からごみを取り除きます。

- ― 頑固な汚れを落とすには、布にエタノール系の洗浄剤を少しつけて拭きます。

- ― 水洗する場合は、水压を 0.5 bar 以下にしてください。

4 清掃が終わったら、電源コードを本製品に接続します。

5 本製品と PC の電源をオンにします。

保管時

強い光沢のある製品の場合、近くで UV 加湿器を使用すると製品表面に白いしみができることがあります。

- ― 本製品内部の清掃が必要な場合は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでお問い合わせください（別途作業費がかかります）。

第 2 章 準備

内容物の確認

部品

- 内容物が不足している場合は、製品の購入先にお問い合わせください。
- 付属品の外観は図とは異なることがあります。
- 製品にスタンドは付属していません。スタンドを取り付ける場合、別途購入してください。



クイック セットアップ ガイド



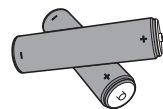
保証書
(一部の地域では利用できません)



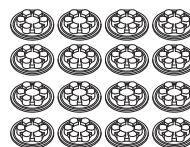
規制ガイド



リモコン



電池
(一部の地域では利用できません)

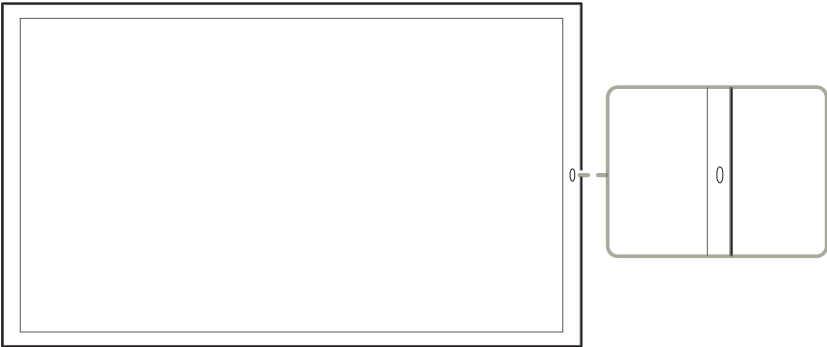


カバー キャップ (16 EA)

各部

前方

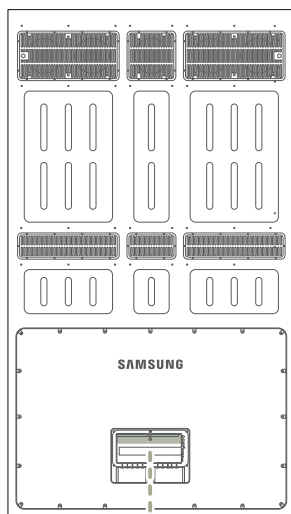
― 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



ポート	説明
リモートセンサー	本製品の前面にあるセンサーにリモコンを向けながらリモコンのボタンを押すと、対応する機能が実行されます。 ― 本製品のリモコンを使用している場所で他の表示デバイスを使用すると、誤って他の表示デバイスを操作してしまう場合があります。

背面

― 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。
仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



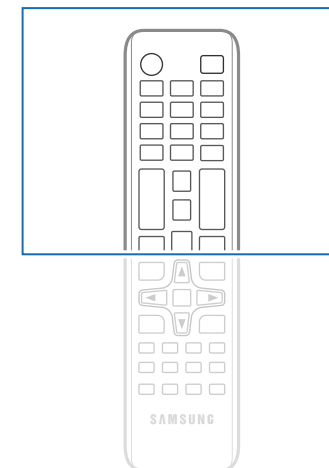
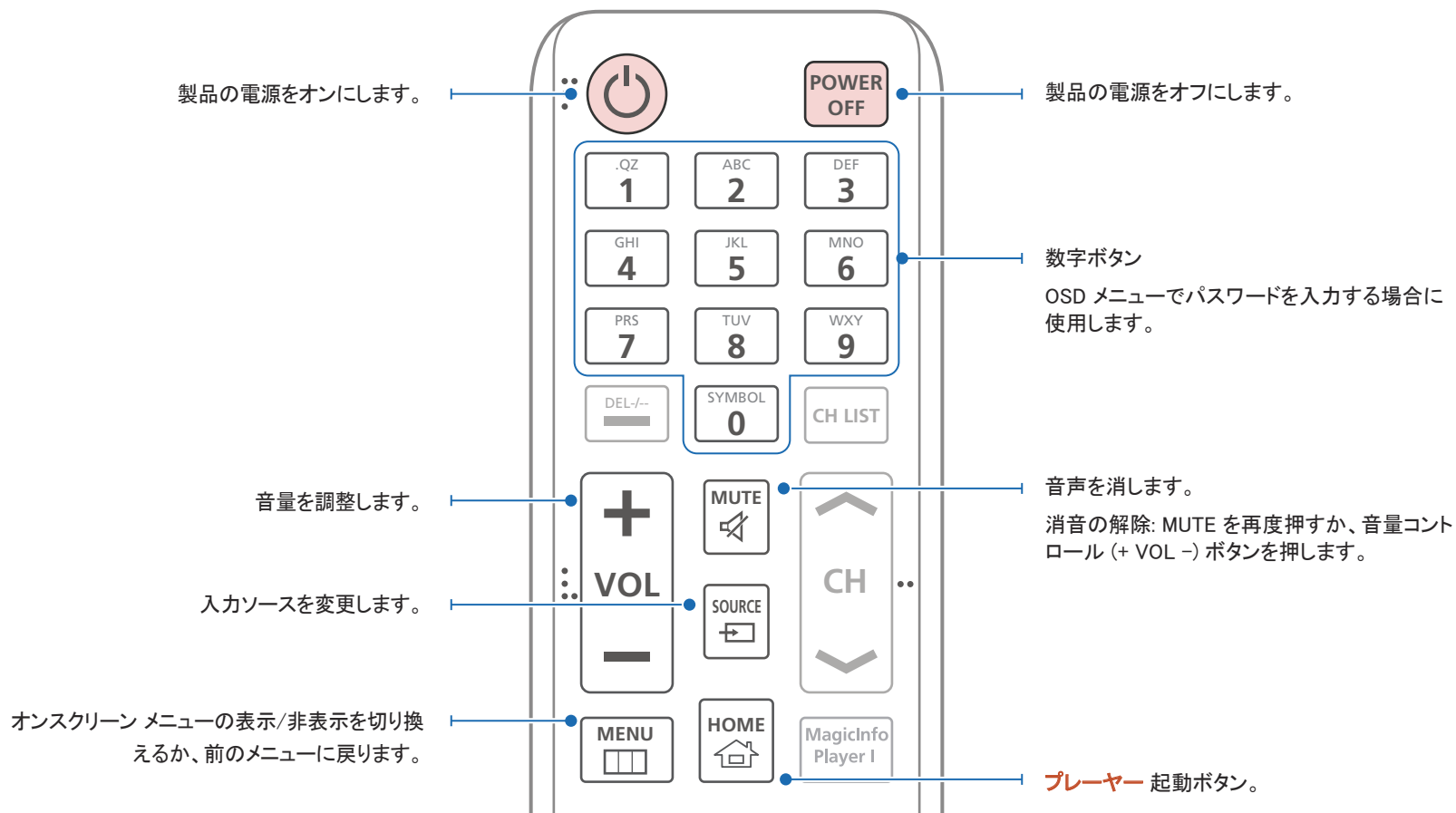
ポート

説明

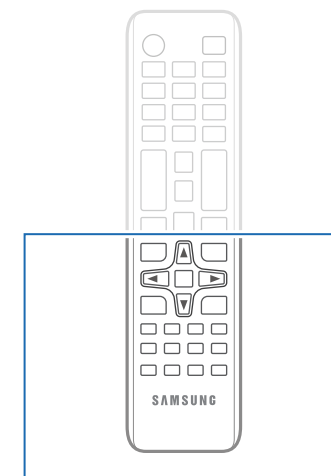
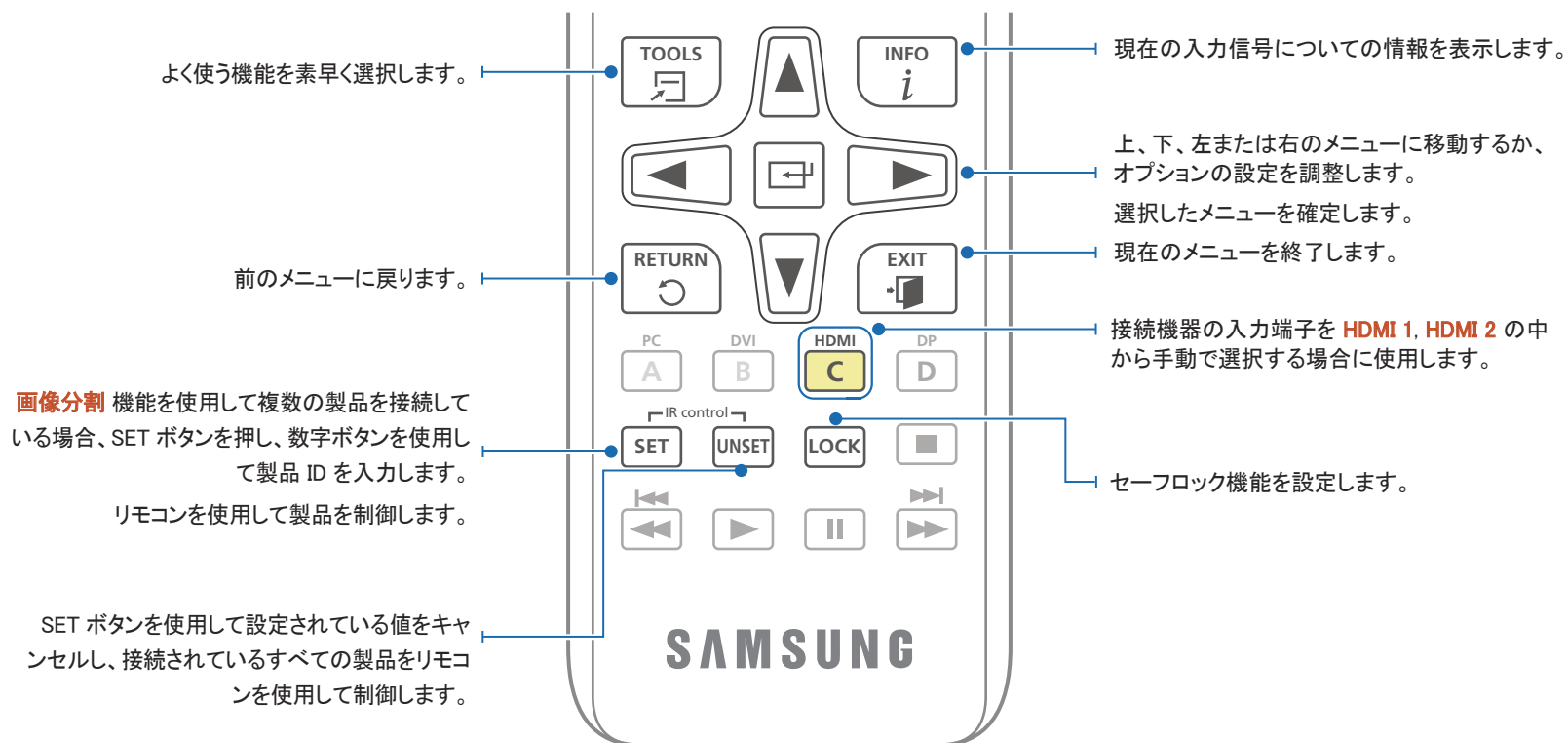
USB	USB メモリ デバイスに接続します。
RJ45	LAN ケーブルを使用して MDC に接続します。(100 Mbps) ― 接続には カテゴリー 7 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。 *Shielded Twisted Pair.
HDMI 1, HDMI 2	HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用して、入力信号デバイスに接続する。
DP IN (UHD 60Hz)	DP ケーブルを使用して PC と接続します。 ― UHD のコンテンツを 60Hz で表示するときに、よりシャープな映像になります。
AUDIO OUT	オーディオ ケーブルを通じてオーディオ デバイスに音声を出力します。
RS232C IN	RS232C アダプタを使用して、MDC に接続します。

リモコン

- ー 本製品のリモコンを使用している場所で他の表示デバイスを使用すると、誤って他の表示デバイスを操作してしまう場合があります。
- ー 以下の図で説明のないボタンは本製品では使用できません。

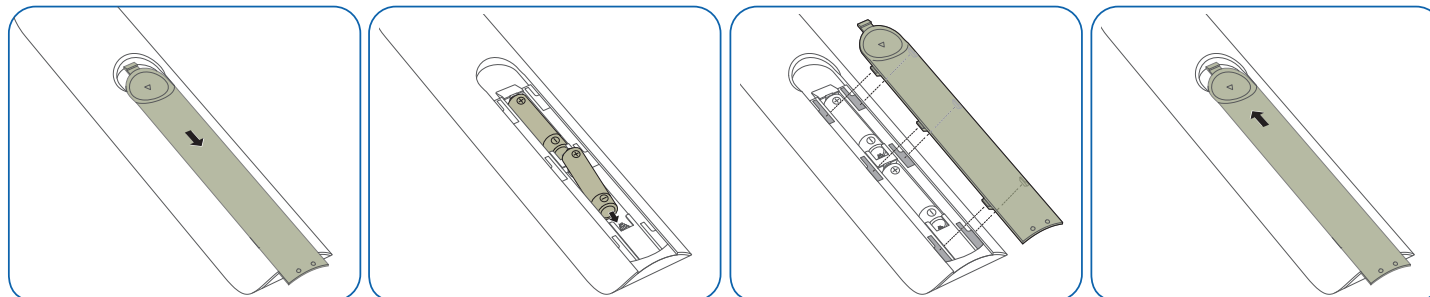


- ー 製品が異なる場合、リモコンのボタン機能は異なることがあります。

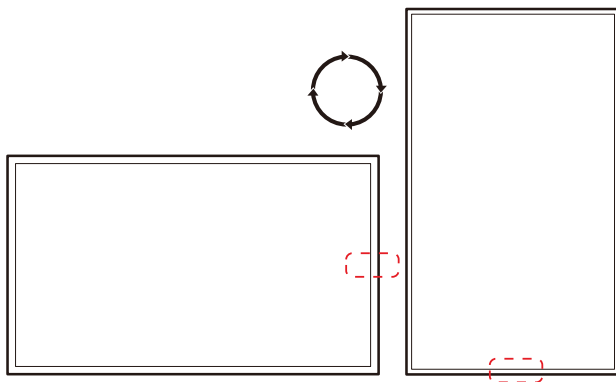


- 製品が異なる場合、リモコンのボタン機能は異なることがあります。
- リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておいてください。

リモコンの電池交換方法



製品の設置前に（設置ガイド）



ケガを予防するため、設置指示にしたがって本機器をしっかりと床または壁に取り付けてください。

- 壁に取り付ける場合は必ず、認定設置会社に依頼してください。
- 依頼せずに設置すると落下の原因となり、ケガにつながります。
- 必ず指定された壁設置を行ってください。

外気温の上昇や製品の設置環境により製品の温度が上昇すると、輝度が下がり製品の過熱を緩和し、事故を未然に防ぎます。

縦向きと横向きの切り替え

ー 詳細は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルにお問い合わせください。

- 製品を垂直姿勢（縦位置）で使用するには、製品を時計回りに回転させて IR LED を下向きにします。

換気

垂直壁面への設置

A 60 mm 以上

- 直射日光が当たる場合: 200 mm 以上
- 直射日光が当たらず、気温が 35 °C 未満の場合: 60 mm 以上

B 周囲温度: 50 °C 未満

- 製品を垂直壁面に設置する場合、換気および周囲温度を 50 °C 未満に維持するために、製品と壁面との間に 60 mm 以上の隙間をあけてください。

ー 屋外設置ガイドを参照してください。(http://displaysolutions.samsung.com)

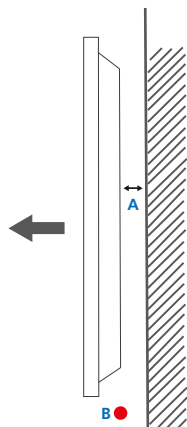
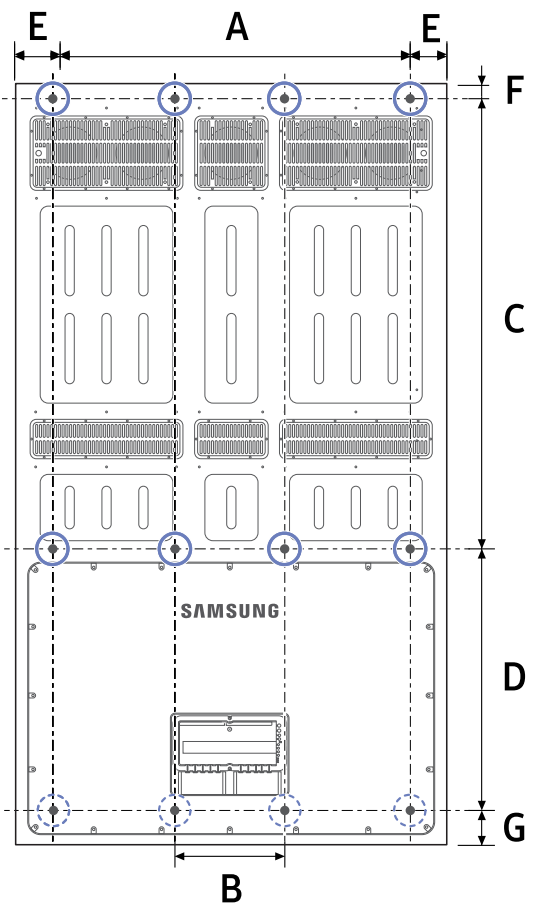


図 1.1 側面図

ウォール マウントの仕様

- 床に対して垂直なしっかりとした壁にウォール マウントを取り付けてください。本製品を傾斜のある壁に設置すると、落下して大怪我につながる場合があります。石こうボード以外の面にウォール マウントを取り付ける場合、事前に最寄りのサービスセンターに連絡して注意事項などを確認してください。
- 傾く可能性のあるウォール マウントは使用しないでください。
- ネジはきつく締めすぎないようにしてください。本製品の損傷や落下につながり、ケガを招く恐れがあります。Samsung はこれらの事故に関して一切責任を負いません。
- ウォール マウントを設置している間は製品の電源をオンにしないでください。感電による被害につながる恐れがあります。
- 壁に取り付ける際は、ガイド穴を使用しないでください。



単位:mm

ネジ穴仕様 (A * B) [ミリ]	870 x 260
ネジ穴仕様 (C * D) [ミリ]	1118.4 x 538.2
E	91.7
F	40.8
G	77.4
ボルトのサイズ	M8

- : ウォール マウント用の取り付け穴 (8 箇所)
- : ガイド穴 (4 箇所) (壁に取り付ける際は、ガイド穴を使用しないでください)

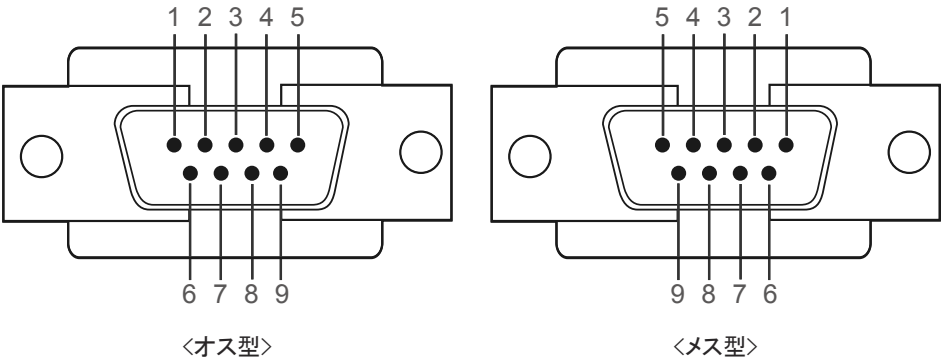
リモコン (RS232C)

ケーブル接続

RS232C ケーブル

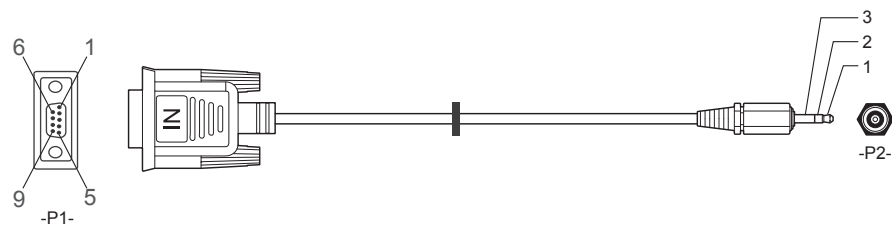
インターフェイス	RS232C (9 ピン)
ピン	TxD (No.2)、RxD (No.3)、GND (No.5)
ビット レート	9600 bps
データ ビット	8 ビット
パリティ	なし
ストップ ビット	1 ビット
フロー制御	なし
最大長	15 m (シールド タイプのみ)

• ピン配置

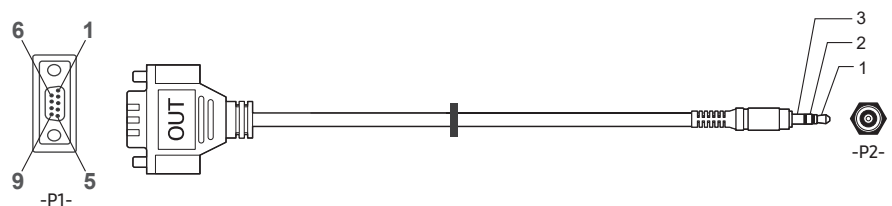


ピン	信号
1	データ キャリア検出
2	受信データ
3	送信データ
4	DTR (Data Terminal Ready)
5	信号グラウンド
6	DSR (Data Set Ready)
7	送信リクエスト
8	送信準備完了
9	リング インジケータ

- RS232C ケーブル
コネクタ: ステレオ ケーブルを接続する 9 ピン D-Sub



		-P1-		-P2-		
オス型	Rx	3	-----	1	Tx	ステレオ
	Tx	2	-----	2	Rx	プラグ
	Gnd	5	-----	3	Gnd	(ø3.5)

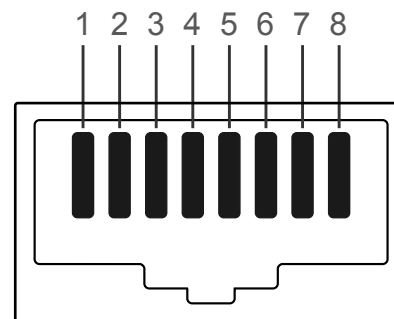


		-P1-		-P2-		
メス型	Rx	3	-----	1	Tx	ステレオ
	Tx	2	-----	2	Rx	プラグ
	Gnd	5	-----	3	Gnd	(ø3.5)

この機能はモデルによって異なる場合があります。

LAN ケーブル

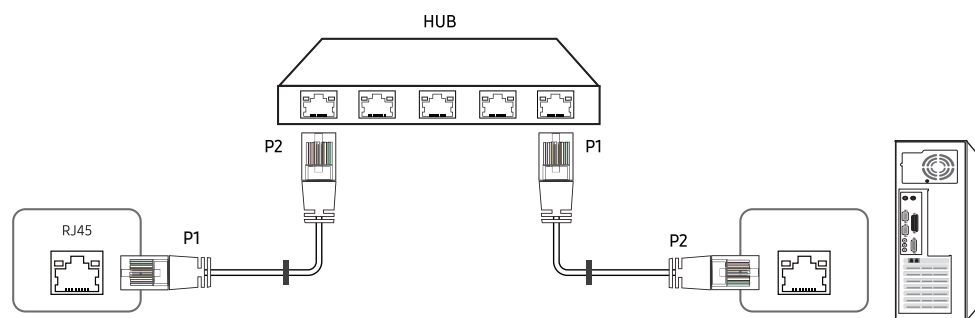
- ピン配置



ピン番号	標準色	信号
1	白色と橙色	TX+
2	橙色	TX-
3	白色と緑色	RX+
4	青色	NC
5	白色と青色	NC
6	緑色	RX-
7	白色と茶色	NC
8	茶色	NC

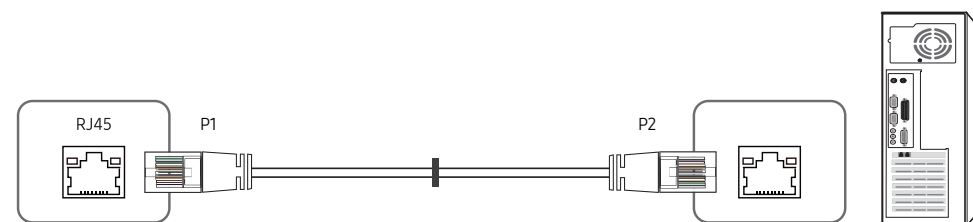
- コネクタ : RJ45

ダイレクト LAN ケーブル (PC から HUB へ)



信号	P1		P2	信号
TX+	1	↔	1	TX+
TX-	2	↔	2	TX-
RX+	3	↔	3	RX+
RX-	6	↔	6	RX-

クロス LAN ケーブル (PC から PC へ)

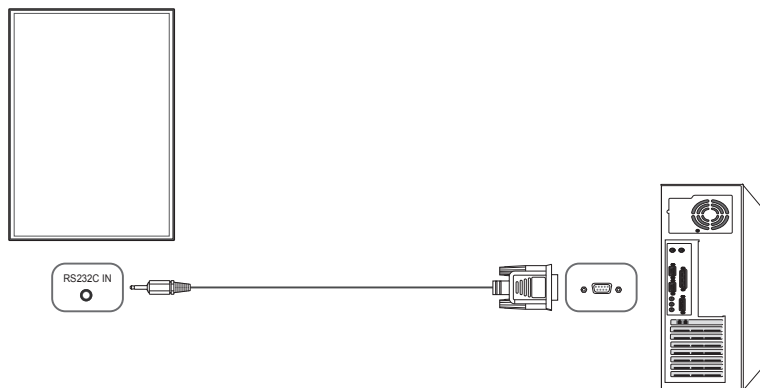


信号	P1		P2	信号
TX+	1	↔	3	RX+
TX-	2	↔	6	RX-
RX+	3	↔	1	TX+
RX-	6	↔	2	TX-

接続

- 接続 1

― 必ず、製品の RS232C IN ポートに RS232C(IN) アダプタを接続します。



制御コード

制御状態の表示（制御コマンド取得）

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	コマンドタイプ		0	

制御（制御コマンドのセット）

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	コマンドタイプ		1	値	

コマンド

番号	コマンドタイプ	コマンド	値の範囲
1	電源制御	0x11	0~1
2	音量制御	0x12	0~100
3	入力信号制御	0x14	-
4	画面モード制御	0x18	-
5	画面サイズ制御	0x19	0~255
6	ビデオウォールモード制御	0x5C	0~1
7	安全ロック	0x5D	0~1
8	ビデオウォールオン	0x84	0~1

番号	コマンドタイプ	コマンド	値の範囲
9	ビデオウォールユーザー制御	0x89	-

- 実行されるすべての通信は、16進数です。チェックサムの計算は、ヘッダを除くすべての値を合計して行います。以下に示すようにチェックサムの合計が2桁を超える場合は(11+FF+01+01=112)、最初の桁を消します。

例: 電源 On & ID=0

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ1	チェックサム
0xAA	0x11		1	"Power"	

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ1	12
0xAA	0x11		1	1	

- シリアルケーブルで接続されたすべてのデバイスをIDに関わらず同時に制御するには、IDを"0xFE"に設定してコマンドを送信します。コマンドはデバイスごとに実行されますが、ACKは返されません。

電源制御

- 機能
製品の電源オン / オフは、PC を使用して行うことができます。
- 電源状態の表示 (Get Power ON / OFF Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x11		0	

- 電源 オン / オフの設定 (Set Power ON / OFF)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x11		1	"Power"	

"Power": 製品に設定する電源コード。

1: 電源オン

0: 電源オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x11	"Power"	

"Power": 製品に設定する電源コード。

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x11	"ERR"	

"ERR": 発生したエラーを示すコード。

音量制御

- 機能
製品の音量は、PC を使用して調整することができます。
- 音量状態の表示 (Get Volume Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x12		0	

- 音量の設定 (Set Volume)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x12		1	"Volume"	

"Volume": 製品に設定する音量値コード。(0-100)

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x12	"Volume"	

"Volume": 製品に設定する音量値コード。(0-100)

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x12	"ERR"	

"ERR": 発生したエラーを示すコード。

入力信号制御

- 機能
製品の入力ソースは、PC を使用して変更することができます。
- 入力信号状態の表示 (Get Input Source Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x14		0	

- 入力信号の設定 (Set Input Source)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x14		1	"Input Source"	

"Input Source": 製品に設定する入力ソース コード。

0x0C	入力信号
0x20	MagicInfo
0x21	HDMI1
0x22	HDMI1_PC
0x23	HDMI2
0x24	HDMI2_PC

— HDMI1_PC および HDMI2_PC は、Set コマンドと共用できません。これらの入力信号は、“Get” コマンドにのみ応答します。

— **MagicInfo** は、**MagicInfo** 機能を備えるモデルでのみ使用することができます。

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x14	"Input Source"	

"Input Source": 製品に設定する入力ソース コード。

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x14	"ERR"	

"ERR": 発生したエラーを示すコード。

画面モード制御

- 機能
製品の画面モードは、PC を使用して変更することができます。
画面モードは、**Video Wall** 機能が有効になっているときには制御できません。
- 画面ステータスの表示 (Get Screen Mode Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x18		0	

- 映像サイズの設定 (Set Picture Size)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x18		1	"Screen Mode"	

"Screen Mode": 製品のステータスを設定するコード

0x01	16 : 9
0x04	ズーム
0x31	ワイドズーム
0x0B	4 : 3

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x18	"Screen Mode"	

"Screen Mode": 製品のステータスを設定するコード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x18	"ERR"	

"ERR": 発生したエラーを示すコード

画面サイズ制御

- 機能
製品の画面サイズは、PC を使用して変更することができます。
- 画面サイズの表示 (Get Screen Size Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x19		0	

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x19	"Screen Size"	

"Screen Size": 製品の画面サイズ (範囲: 0 - 255、単位: インチ)

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x19	"ERR"	

"ERR": 発生したエラーを示すコード

画面分割モード制御

- 機能
Video Wall モードは、PC を使用して製品上で有効にすることができます。
この制御は、Video Wall が有効になっている製品でのみ使用できます。
- 画面分割モードの表示 (Get Video Wall Mode)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5C		0	

- 画面分割の設定 (Set Video Wall Mode)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5C		1	"Video Wall Mode"	

"Video Wall Mode": Video Wall モードを製品で有効にするために使用するコード

1: Full

0: Natural

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x5C	"Video Wall Mode"	

"Video Wall Mode": Video Wall モードを製品で有効にするために使用するコード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x5C	"ERR"	

"ERR": 発生したエラーを示すコード

安全ロック

- 機能
PC を使用して、製品の Safety Lock On 機能のオン/オフを切り替えることができます。
この制御は、電源のオン、オフに関わらずいつでも使用することができます。
- 安全ロック状態の表示 (Get Safety Lock Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5D		0	

- 安全ロックの有効化または無効化 (Set Safety Lock Enable / Disable)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5D		1	"Safety Lock"	

"Safety Lock": 製品に設定する安全ロック コード

1: オン

0: オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x5D	"Safety Lock"	

"Safety Lock": 製品に設定する安全ロック コード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x5D	"ERR"	

"ERR": 発生したエラーを示すコード

ビデオウォールオン

- 機能
PCを使用して製品のビデオウォール機能のオン/オフを切り替えます。
- ビデオウォールのオン/オフ状態の取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x84		0	

- ビデオウォールのオン/オフの設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x84		1	V.Wall_On	

- V.Wall_On: 製品に設定するビデオウォールコード

1: ビデオウォールオン

0: ビデオウォールオフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x84	V.Wall_On	

V.Wall_On : 同上

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x84	ERR	

"ERR": 発生したエラーを示すコード

ビデオウォールユーザー制御

- 機能
PCを使用して製品のビデオウォール機能のオン/オフを切り替えます。
- ビデオウォールの状態の取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x89		0	

- ビデオウォールの設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	値1	値2	チェックサム
0xAA	0x89		2	Wall_Div	Wall_SNo	

Wall_Div: 製品に設定されているビデオウォールの分割コード

10x10 ビデオ ウォール モデル

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
オフ	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00	0x00
1	0x11	0x12	0x13	0x14	0x15	0x16	0x17	0x18	0x19	0x1A	0x1B	0x1C	0x1D	0x1E	0x1F
2	0x21	0x22	0x23	0x24	0x25	0x26	0x27	0x28	0x29	0x2A	0x2B	0x2C	0x2D	0x2E	0x2F
3	0x31	0x32	0x33	0x34	0x35	0x36	0x37	0x38	0x39	0x3A	0x3B	0x3C	0x3D	0x3E	0x3F
4	0x41	0x42	0x43	0x44	0x45	0x46	0x47	0x48	0x49	0x4A	0x4B	0x4C	0x4D	0x4E	0x4F
5	0x51	0x52	0x53	0x54	0x55	0x56	0x57	0x58	0x59	0x5A	0x5B	0x5C	0x5D	0x5E	0x5F
6	0x61	0x62	0x63	0x64	0x65	0x66	0x67	0x68	0x69	0x6A	0x6B	0x6C	0x6D	0x6E	0x6F
7	0x71	0x72	0x73	0x74	0x75	0x76	0x77	0x78	0x79	0x7A	0x7B	0x7C	0x7D	0x7E	N/A
8	0x81	0x82	0x83	0x84	0x85	0x86	0x87	0x88	0x89	0x8A	0x8B	0x8C	N/A	N/A	N/A
9	0x91	0x92	0x93	0x94	0x95	0x96	0x97	0x98	0x99	0x9A	0x9B	N/A	N/A	N/A	N/A
10	0xA1	0xA2	0xA3	0xA4	0xA5	0xA6	0xA7	0xA8	0xA9	0xAA	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
11	0xB1	0xB2	0xB3	0xB4	0xB5	0xB6	0xB7	0xB8	0xB9	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
12	0xC1	0xC2	0xC3	0xC4	0xC5	0xC6	0xC7	0xC8	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
13	0xD1	0xD2	0xD3	0xD4	0xD5	0xD6	0xD7	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
14	0xE1	0xE2	0xE3	0xE4	0xE5	0xE6	0xE7	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
15	0xF1	0xF2	0xF3	0xF4	0xF5	0xF6	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

Wall_SNo: 製品に設定されている製品番号コード

10x10 ビデオ ウォール モデル : (1 ~ 100)

設定番号	データ
1	0x01
2	0x02
...	...
99	0x63
100	0x64

• Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	値2	チェックサム
0xAA	0xFF		4	'A'	0x89	Wall_Div	Wall_SNo	

• Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x89	ERR	

“ERR”: 発生したエラーを示すコード

第 3 章

入力信号デバイスの接続と使用

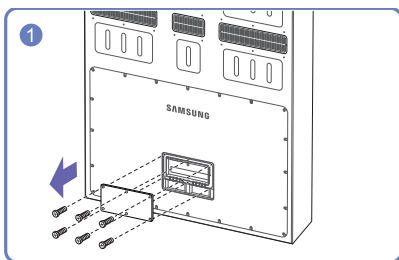
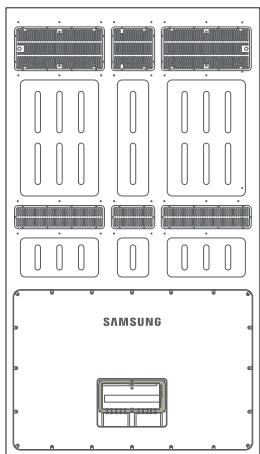
接続の前に

接続前のチェックポイント

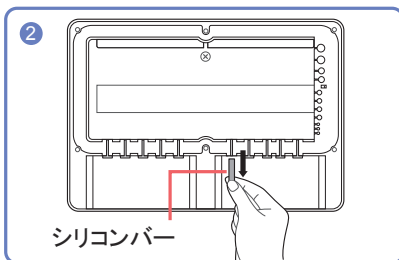
- ― 入力信号デバイスを接続する前に、各デバイスに付属するユーザーマニュアルをお読みください。
入力信号デバイスのポートの位置および数は、デバイスによって異なる場合があります。
- ― すべての接続作業が完了するまで、電源ケーブルを接続しないでください。
接続作業中に電源ケーブルを接続すると、製品を損傷する場合があります。
- ― サウンドポートは左に白、右に赤を正しく接続します。
- ― 接続する製品の背面にあるポートのタイプを確認します。

ケーブルを接続する前に

― 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

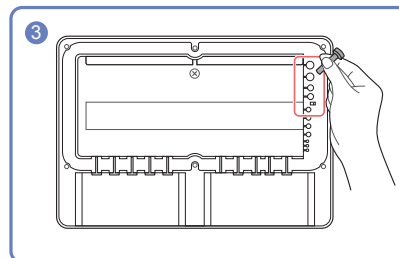


ネジを外して、カバーを取り外します。

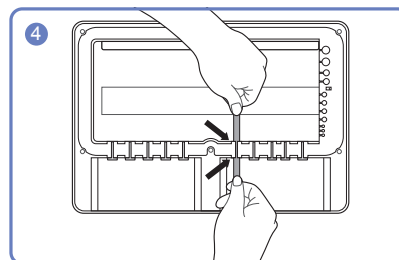


接続するケーブルの太さに対応したシリコンバーを取り外します。

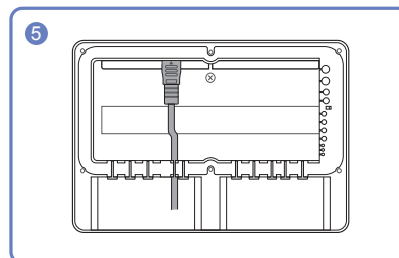
- 穴の種類と対応するケーブルの太さ
- ― $\varnothing 7$ の穴 \times 1: $\varnothing 7$ のケーブルを挿入
 - ― $\varnothing 5.5$ の穴 \times 6: $\varnothing 5.5$ のケーブルを挿入
 - ― $\varnothing 3$ の穴 \times 2: $\varnothing 3$ のケーブルを挿入
 - ― $\varnothing 8.5$ の穴 \times 1: $\varnothing 8.5$ のケーブルを挿入



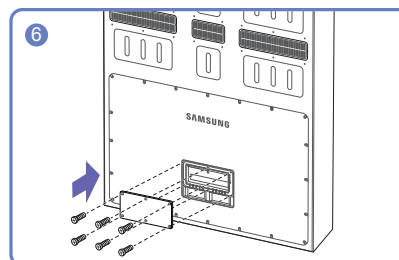
取り外したシリコンバーはなくさないように印の場所に挿入して保管してください。



シリコンバーを取り外した後の穴に対応するケーブルを挿入します。



ケーブルは図のように接続してください。

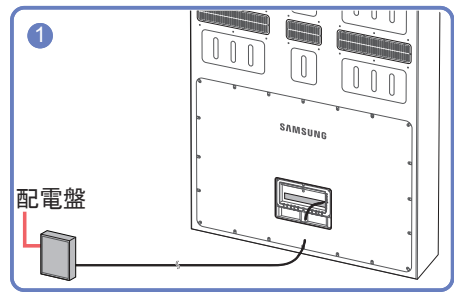


カバーを閉じて、ネジを締めます。

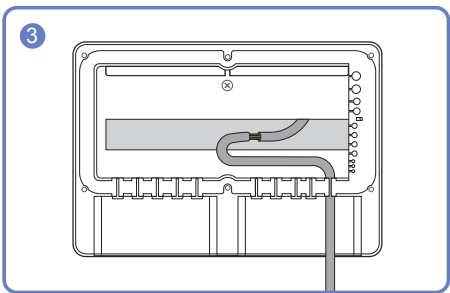
- ― すべてのケーブルを接続した後、水が入らないようにカバーを閉じてネジをしっかりと締めてください。
- ― 推奨トルク :10 - 12 kgf.cm

電源ケーブル接続ガイド

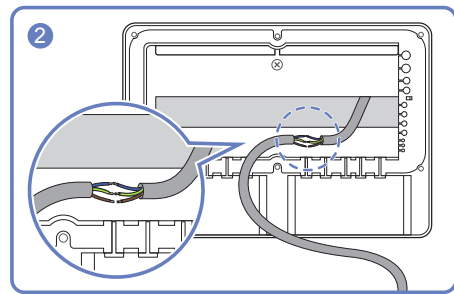
一部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



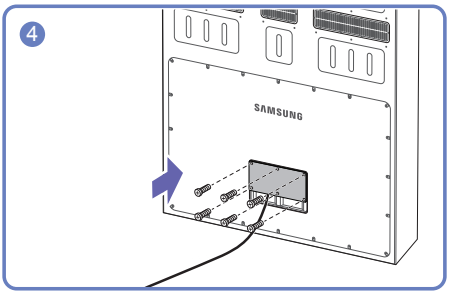
15 A 対応の 8.5 mm 径の防水電源ケーブルを用意します。



電源ケーブルのはんだ付け(接続)した部分を製品内部に入れます。



電源ケーブル 2 本を互いに接続します。接続部分をはんだ付けし、絶縁します。




















背面カバーを閉じて、ネジを締めます。

国によって異なる電源ケーブルの色

外部電源ケーブルを接続する際は必ず、ワイヤの色と、製品の電源ケーブル内部の 3 本のワイヤの色を一致させてください。外部電源ケーブルの各ワイヤの色 (Neutral、Live、または Ground) の意味は、国によって異なる場合があります。

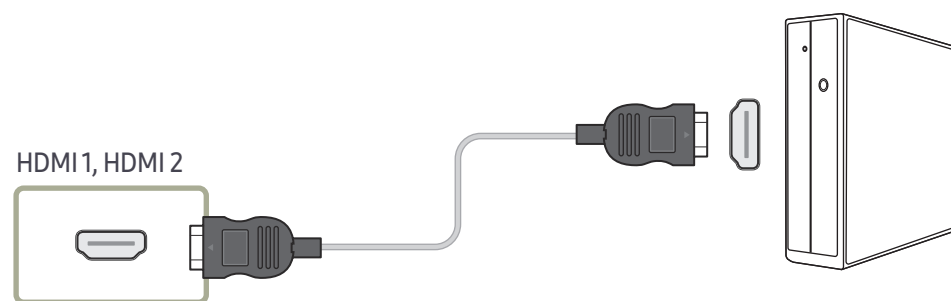
必ず、以下の表を参照して、目的に合わせて正しくワイヤを接続してください。

モデル名	Neutral	Live	Ground	国
OH75A	青色 	茶色 	緑色 / 黄色 	
	白色 	黒色 	緑色  または 緑色 / 黄色 	America
	青色 	茶色 	緑色 / 黄色 	Europe
	黒色 	赤 	緑色 / 黄色 	India
	白色 	黒色 	緑色  または 緑色 / 黄色 	Taiwan & Japan

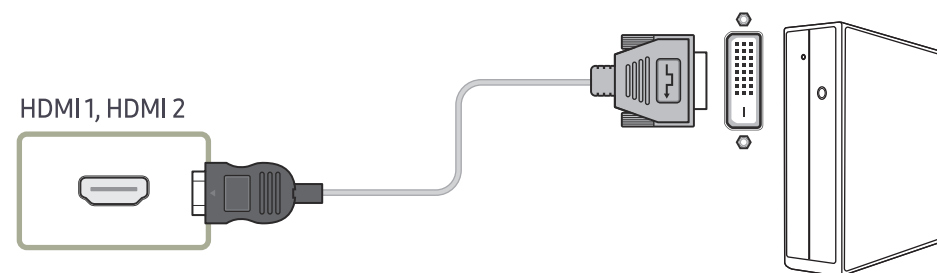
PC との接続

- 電源ケーブルは、他のケーブル類をすべて接続した後に接続してください。
ソース機器は電源ケーブルを接続する前に接続してください。
 - 本製品には、PC を複数の方法で接続することができます。
お使いの PC に適した接続方法を選んでください。
- ― 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

HDMI ケーブルを使用した接続

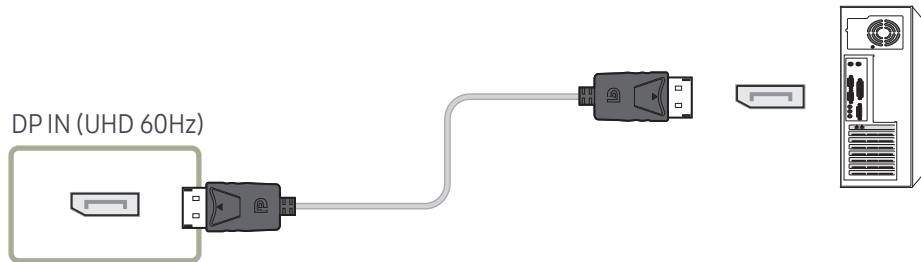


HDMI-DVI ケーブルを使用した接続



DP ケーブルを使用した接続

― 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。



- DP 使用に関する注意事項

- ― DP 基準に準拠していないグラフィックカードを使用している場合、省電力モードでは Windows の起動画面/BIOS 画面が表示されないことがあります。この場合、製品の電源をオンにした後で PC の電源をオンにしてください。
- ― VESA 規格に準拠していない DP ケーブルを使用した場合、製品の不具合の原因となることがあります。VESA 規格に準拠していないケーブルを使用したことによって生じる問題に関して、Samsung は一切責任を負わないものとします。
必ず VESA 規格に準拠した DP ケーブルを使用してください。
- ― 入力ソースが **ディスプレイポート** の場合、最適解像度 (3840 x 2160 (60 Hz)) を使用するには、DP ケーブルの長さを 5m 未満にすることをお勧めします。
- ― 入力ソースが **ディスプレイポート** の場合、省電力モードを無効にすると、新しい解像度の情報がインポートされ、タスク ウィンドウのサイズと位置がリセットされることがあります。

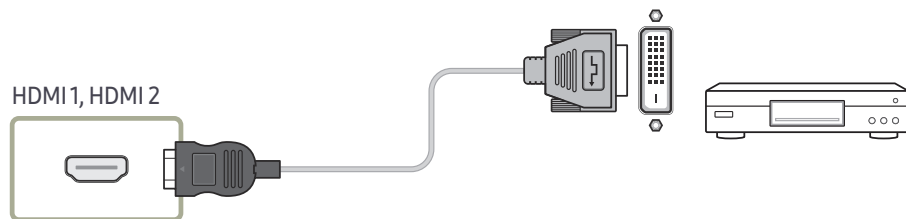
ビデオ機器との接続

- 電源ケーブルは、他のケーブル類をすべて接続した後に接続してください。
ソース機器は電源ケーブルを接続する前に接続してください。
- ケーブルを使用して、ビデオ デバイスを本製品に接続することができます。
 - 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。
 - リモコンの SOURCE ボタンを押して、ソースを変更します。

HDMI-DVI ケーブルを使用した接続

サポートされる解像度には、1080p (50/60Hz)、720p (50/60Hz)、480p および 576p が含まれます。

- 外観は製品のモデルによって異なる場合があります。
- 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

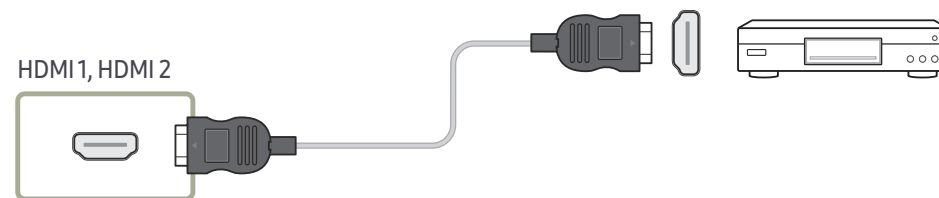


HDMI ケーブルを使用した接続

- 外観は製品のモデルによって異なる場合があります。
- 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

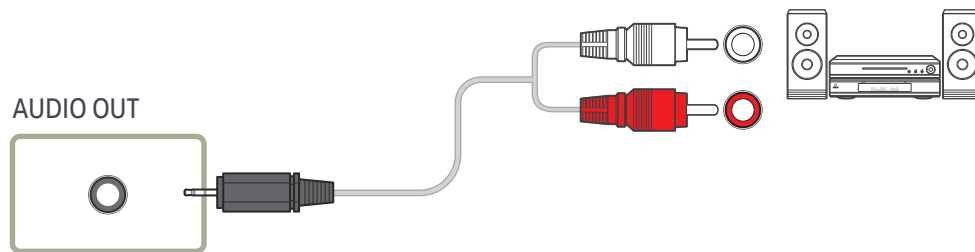
HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用する (1080pまで)

- 画質や音質を良くするためには、HDMI ケーブルを使用してデジタル デバイスに接続してください。
- HDMI ケーブルはデジタル ビデオ信号やデジタル オーディオ信号をサポートします。また、オーディオ ケーブルを必要としません。
 - HDMI 出力をサポートしないデジタル デバイスに製品を接続するには、HDMI-DVI ケーブルやオーディオ ケーブルを使用してください。
- 古いバージョンの HDMI モードを使用する外部機器を製品に接続している場合は、映像が正常に表示されなかったり（または全く表示されない）、音声機能が機能しないことがあります。このような問題が起きた場合は、外部機器のメーカーに HDMI バージョンについて問い合わせ、バージョンが古い場合は最新のものを要求してください。
- HDMI ケーブルは 14 mm 以下のものを使用してください。
- 認定 HDMI ケーブルを購入してください。認定外の HDMI ケーブルを使用すると、映像が表示されなかったり接続エラーが起こることがあります。
- 標準ハイスピード HDMI ケーブル、またはイーサネット対応 HDMI ケーブルをお勧めします。本製品では HDMI を通したイーサネット機能はサポートしていません。



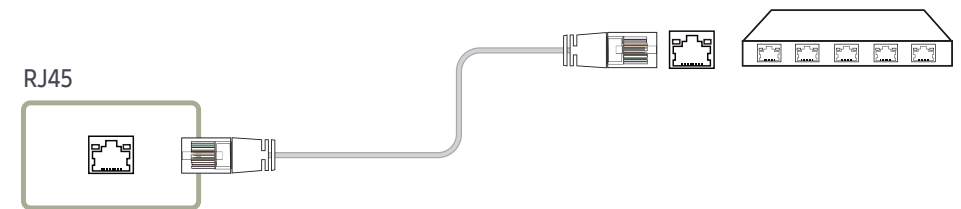
オーディオ システムに接続する

- ― 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。
- ― 必ず同じ色のコネクタ同士を接続してください。（白と白、赤と赤など）



LAN ケーブルの接続

- ― 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

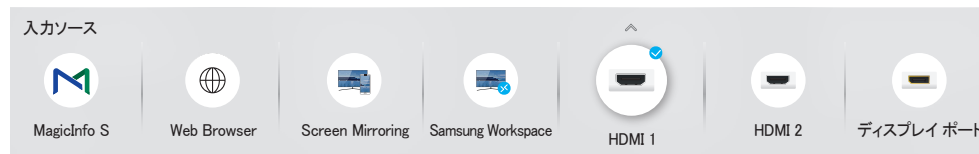


- 接続には カテゴリー 7（*STP タイプ）のケーブルをご使用ください。（100 Mbps）
*Shielded Twisted Pair

入力ソースを変更する

入力ソース

SOURCE



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

入力ソース で入力信号を選択して、入力信号デバイス名を変更することができます。

本製品に接続された入力信号デバイスの画面を表示させることができます。外部入力から入力信号を選択して、選択した入力信号デバイスの画面を表示します。

– リモコンの SOURCE ボタンを使用して入力ソースを変更することもできます。

– 変換したい入力信号デバイスに誤った入力信号を選択すると、画面に正しく表示されない場合があります。

編集

SOURCE → ▲ → **編集** → ENTER [↵]

接続された外部機器の名前とタイプを編集します。

- このリストには以下のようなソース機器が表示されます。リストに表示されるソース機器は、選択されたソースによって異なります。

HDMI 1 / HDMI 2 / ディスプレイ ポート / ケーブル ボックス / ゲーム コンソール / PC / Blu-ray プレーヤー

- 以下のソースは編集できません。

MagicInfo S / Web Browser / Screen Mirroring / Samsung Workspace

Web Browser

SOURCE →  **Web Browser** → ENTER 

— ネットワークに接続すると、コンピュータからインターネットにアクセスする場合と同様に、製品からインターネットにアクセスできます。

設定

SOURCE →  **Web Browser** → ▲ → **設定** → ENTER 

更新間隔

Web ブラウザーの表示がホーム ページに戻るまでの時間を設定します。

- **オフ / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 30 分**

ズーム

Web ブラウザーの表示内容更新時に適用するズーム スケールを設定します。

- **50% / 75% / 100% / 125% / 150% / 200% / 300%**

ホーム ページ

Web ブラウザーの表示内容更新時に表示する Web サイトを設定します。

- **Samsung ディスプレイ / カスタム**

カスタム

ホーム ページとして設定する URL を入力します。

- **URL を入力してください**

— **ホーム ページ** が **カスタム** に設定されている場合にのみ使用できます。

詳細設定

一般情報

タブとツールバーの自動非表示	ブラウザのタブ、メニューまたはツールバーはしばらく使用しなかった場合、自動的に消えます。それらをもう一度表示するには、ポインターを動かすか画面上部を選択します。
----------------	--

- 使用する / 使用しない

タッチ モードでカーソルを非表示	タッチ操作の邪魔にならないように、カーソルを非表示にします。
------------------	--------------------------------

- 使用する / 使用しない

ポップアップ ブロッカー	ポップアップ ウィンドウをブロックして、ブラウジングをより快適にします。
--------------	--------------------------------------

- 使用する / 使用しない

プロキシ サーバー	Web Browser のプロキシ サーバーを構成します。
-----------	-------------------------------

- 使用する / 使用しない

リセット設定	カスタマイズしたすべての Web ブラウザーの設定をデフォルト値にリセットします。ブックマークと履歴は影響を受けません。
--------	--

検索エンジン

URL/キーワード入力フィールドにキーワードを入力すると、Web ブラウザーの検索結果ページが表示されます。使用する検索エンジンを選択します。

- Google / Bing

プライバシー & セキュリティ

追跡の拒否	閲覧者を追跡しないよう Web サイトに要請します。 <ul style="list-style-type: none">使用する / 使用しない
履歴の削除	すべての閲覧履歴を削除します。
JavaScript	すべてのサイトで JavaScript を実行可能にし、より快適なブラウジングを実現します。 <ul style="list-style-type: none">使用する / 使用しない
閲覧データの削除	クッキー、キャッシュされた画像およびデータなど、すべての閲覧データを削除します。ブックマークと履歴は影響を受けません。

エンコード

エンコード	Web ページのエンコード方式を選択します。現在の設定は「自動」です。 <ul style="list-style-type: none">自動 / 手動 (現在 : Unicode)
-------	--

情報

Web ブラウザの現在のバージョンを表示します。

Web Browser機能を使用する前にお読みください

Web Browser機能を使用する前に、以下の情報をお読みください。

- ファイルのダウンロードはサポートされていません。
- Web Browser**機能では、特定の企業が運営するWebサイトを含む、特定のWebサイトにアクセスできない場合があります。
- 本製品では、Flashビデオの再生はできません。
- オンライン購入のEコマースはサポートされていません。
- ActiveXはサポートされていません。
- サポートされているフォントの数は限られています。記号や文字によっては、正しく表示されない場合があります。
- Webページの読み込み中は、リモートコマンドへの応答とその結果としての画面表示が遅れることがあります。
- 対象システムの状態によっては、Webページの読み込みが遅延したり、完全に中断したりすることがあります。
- コピーおよび貼り付け操作はサポートされていません。
- メールや簡易メールを作成するときは、フォントサイズや色の選択などの特定の機能が利用できない場合があります。
- 保存できるブックマークの数とログファイルのサイズには制限があります。
- 同時に開くことができるウィンドウの数には制限があります。
- Webの閲覧速度は、ネットワーク環境によって異なります。
- 閲覧履歴は最新のものから順に保存され、古いものから順に上書きされます。
- サポートされているビデオ/オーディオコーデックのタイプによっては、特定のHTML5ビデオおよびオーディオファイルを再生できない場合があります。
- PCに最適化されたストリーミングサービスプロバイダーのビデオソースは、当社独自の**Web Browser**ブラウザで正しく再生されない場合があります。

Screen Mirroring

— この機能は、モデルによってはサポートされない場合があります。

Samsung Workspace

— 製品がネットワークに接続されていることを確認します。

— この機能を開始する前に、必ずキーボードとマウスを接続してください。

Samsung Workspace

SOURCE →  **Samsung Workspace** → ENTER 

この機能でリモート PC と作業リソースにアクセスします。

- **リモート PC**: この機能により、製品をリモート PC またはクラウド サーバーに接続することができます。
 - Mac OS/Windows 7 Pro 以降で動作する PC またはクラウド サーバーのみがサポートされています。
- **Office 365**: Microsoft から **Office 365** の機能にアクセスします。
- **VMware Horizon**: Horizon アカウントで VMware インフラストラクチャを運用している会社に対して、**VMware Horizon** へのアクセスを提供します。

第 4 章

MDC の使用

MDC (Multiple Display Control) は、PC を使用して簡単に複数のディスプレイ装置を同時に制御できるようにするアプリケーションです。

MDC プログラムの使用方法の詳細については、プログラムのインストール後、ヘルプを参照してください。MDC プログラムは Web サイトからダウンロードできます。

Expired ボタンに続いて **Never expired** ボタンを押した場合、製品のステータス チェックには 1 分ほどかかります。コマンドを実行するまでに 1 分ほどお待ちください。

MDC プログラムのインストール / アンインストール

設置の際の注意事項

ー MDC のインストールは、グラフィック カード、マザー ボードおよびネットワークの状態によって異なります。

- 1 MDC Unified のインストール プログラムをクリックします。
- 2 インストール用の言語を選択します。次に、**[OK]** をクリックします。
- 3 “**Welcome to the InstallShield Wizard for MDC_Unified**” 画面が表示された場合は、**[Next]** をクリックします。
- 4 表示される **[License Agreement]** ウィンドウで、**[I accept the terms in the license agreement]** を選択して **[Next]** をクリックします。
- 5 表示される **[Customer Information]** ウィンドウで、すべての情報フィールドに入力して **[Next]** をクリックします。

- 6 表示される **[Destination Folder]** ウィンドウで、プログラムのインストール先のディレクトリ パスを選択してから **[Next]** をクリックします。

ー ディレクトリ パスを指定しない場合には、プログラムはデフォルトのディレクトリ パスにインストールされます。

- 7 表示される **[Ready to Install the Program]** ウィンドウで、プログラムのインストール先のディレクトリ パスを確認してから **[Install]** をクリックします。

- 8 インストールの進捗状況が表示されます。

- 9 表示される **[InstallShield Wizard Complete]** ウィンドウで **[Finish]** をクリックします。

ー **[Launch MDC Unified]** を選択して **[Finish]** をクリックすると、MDC プログラムが直ちに実行されます。

- 10 インストール後には、デスクトップ上に [MDC Unified] ショートカット アイコンが作成されます。

ー MDC の実行アイコンは、PC システムや製品の仕様によって表示されないことがあります。

ー 実行アイコンが表示されない場合には、F5 を押してください。

アンインストール

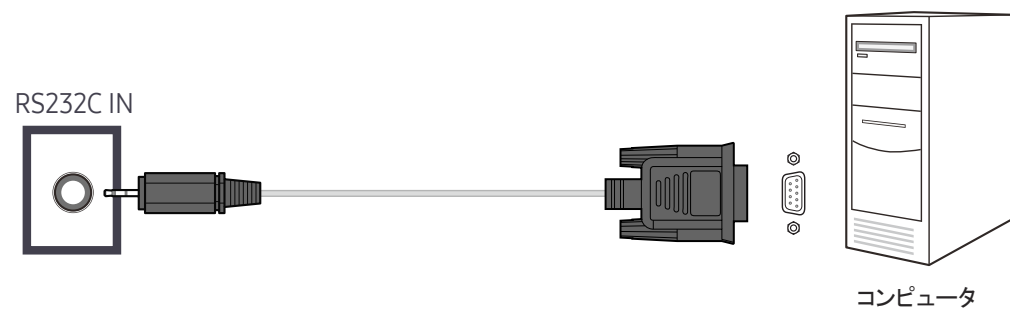
- 1 [スタート] メニューの [設定] > [コントロール パネル] を選択して、[プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。
- 2 リストから [MDC Unified] を選択して、[変更/削除R] をクリックします。

MDC の接続

RS-232C（シリアル データ通信標準規格）による MDC の使用

RS-232C シリアル ケーブルを PC のシリアル ポートとモニターに接続します。

― 外観は製品のモデルによって異なる場合があります。

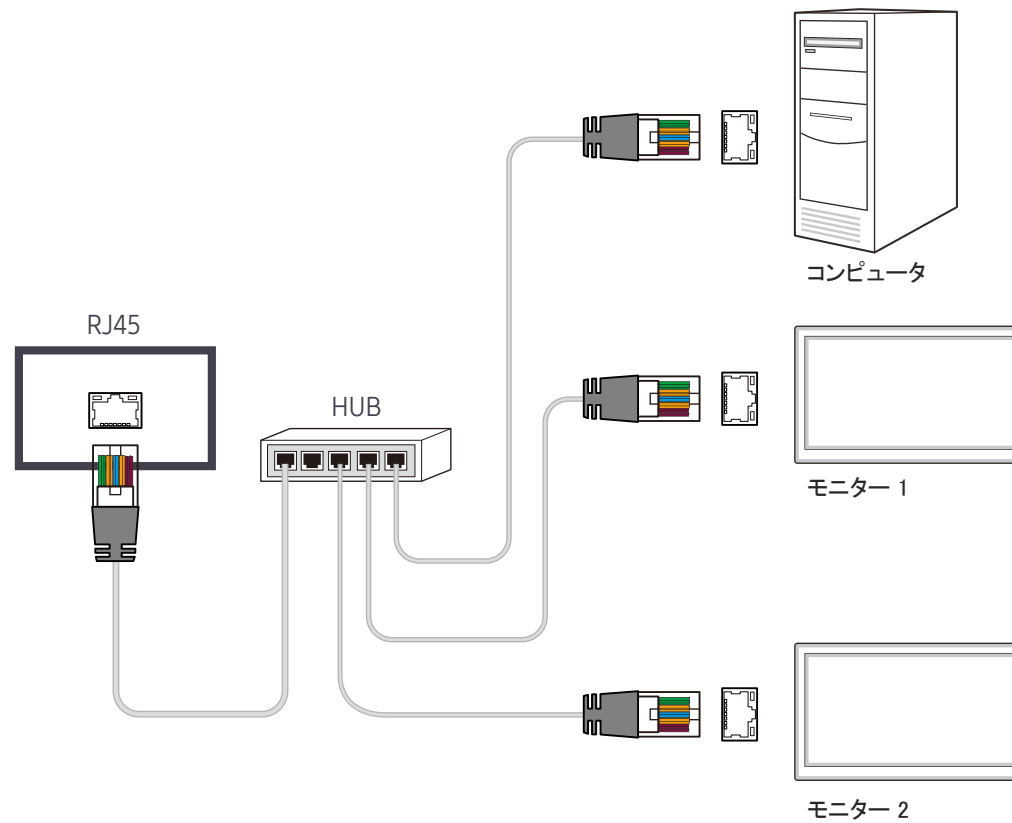


イーサネットによる MDC の使用

プライマリのディスプレイ装置の IP アドレスを入力して、PC にデバイスを接続します。各ディスプレイ装置は LAN ケーブルを使用して相互に接続できます。

ダイレクト LAN ケーブルによる接続

- ― 外観は製品のモデルによって異なる場合があります。
- ― 本製品の RJ45 ポートと HUB の LAN ポートを使用して複数の製品を接続することができます。



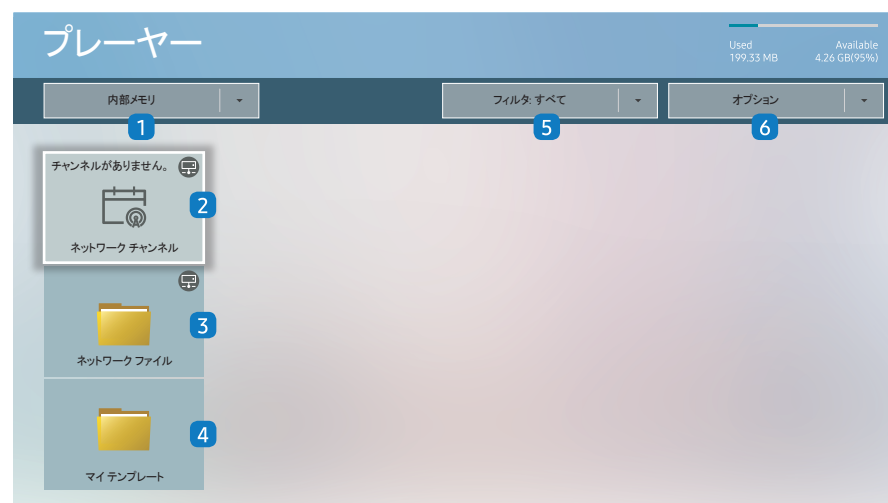
第 5 章 プレーヤー 機能


リモコンの HOME ボタンを使ってアクセスします。

プレーヤー

HOME  → **プレーヤー** → ENTER 

スケジュール付きのチャンネル、テンプレート、ファイルなどのさまざまなコンテンツを再生します。



- 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。
- **プレーヤー** 機能を使用するには、**システム** の **再生手段** を **MagicInfo** に設定します。
(MENU  → **システム** → **再生手段** → **MagicInfo**)
- この機能を使用する前に、必ず **現在時刻設定** を設定してください。

番号 説明

- 1 内部メモリまたは外部メモリを選択します。
- 2 サーバー上で設定されているコンテンツ、テンプレート、およびスケジュールを再生します。
 - サーバーと接続しているか（承認されているか）は、**プレーヤー** 画面で確認できます。ネットワーク チャンネルの実行中にサーバーとの接続を確認するには、リモコンの INFO を押します。
- 3 サーバー上に保存されているコンテンツを再生します。
- 4 内部メモリをの **マイテンプレート** フォルダに保存されているテンプレートを再生します。
- 5 目的のコンテンツ リストを検索するための条件となるコンテンツ タイプを選択します。
- 6 別の **プレーヤー** オプションを設定します。

コンテンツの表示

- 1 内部メモリまたは外部メモリを選択します。選択したメモリに保存されているファイルが表示されます。
- 2 目的のファイルを選択します。コンテンツが画面に表示されます。(互換性があるファイル形式の詳細については、「プレイヤーと互換性のあるファイル形式」のセクションをお読みください。)

コンテンツ実行時

リモコンの操作ボタン

リモコンのボタンを押すと、プレイリストのコンテンツを再生、一時停止、またはスキップできます。

ボタン	機能
TOOLS	メニュー バーを表示します。
INFO	コンテンツの一般情報を表示します。
▶	次のファイルまたはページに移動します。
◀	前のファイルまたはページに移動します。
◀ / ▶ /	スライド ショーまたはビデオ コンテンツを再生または停止します。
■	コンテンツの表示を停止し、 プレーヤー 画面に移動します。
◀◀	ビデオ コンテンツの巻き戻しを行います。
▶▶	ビデオ コンテンツの早送りを行います。

— Internal Memory または USB に画像ファイルが 1 つしかない場合、スライド ショーは再生されません。

— USB 内のフォルダ名が長すぎる場合、フォルダを選択できません。

— **コンテンツの向き** の**ポートレイト** オプションは、解像度が 3840 × 2160 を超えるコンテンツには使用できません。

— 解像度が 3840 × 2160 を超えるビデオの **コンテンツ サイズ** は、**全画面** のみをサポートします。

利用可能なメニュー

設定を変更するには、コンテンツの再生中にリモコンの TOOLS ボタンを押します。

メニュー	説明
再生リスト	現在再生中のコンテンツ項目のリストを表示します。
チャンネル リスト	ネットワーク チャンネル / 内部メモリチャンネル / USB
すべてリピート / 1 曲をリピート	繰り返しモードを設定します。
BGM	コンテンツの再生中に流す BGM を設定します。
リセット	BGM をリセットします。
一時停止	BGM を一時停止します。
前へ	リスト内の前の BGM を再生します。
次へ	リスト内の次の BGM を再生します。

— **リセット**、**一時停止**、**前へ**、**次へ** は BGM が設定されている場合にのみ表示されます。

プレーヤー と互換性のあるファイル形式

- サポートされるファイル システムには FAT32 および NTFS があります。
- 垂直および水平解像度が最大解像度を超えているファイルは再生できません。ファイルの垂直および水平解像度を確認してください。
- サポートされているビデオおよびオーディオ コーデックの種類とバージョンを確認してください。
- サポートされているファイルのバージョンを確認してください。
 - ー PowerPoint は、バージョン 97 から 2013 をサポートしています
- ー USB と **内部メモリ** 間でファイルを転送するには、**オプション** → **送信** をクリックします。
 - テンプレート ファイルの場合
 - ー **内部メモリ** → USB 転送: USB → MagicinfoSlide フォルダの配下
 - ー USB → **内部メモリ** 転送: **内部メモリ** → マイ テンプレート フォルダの配下
 - その他のファイルの場合 (テンプレート以外)
 - ー **内部メモリ** → USB 転送: USB → MagicinfoSlide フォルダの配下
 - ー USB → **内部メモリ** 転送: ルート フォルダの配下

ネットワーク スケジュール マルチフレーム

再生の制限事項




- FHD 動画ファイルは 1 ～ 3 つを同時に再生できます。また、UHD 動画ファイルおよび FHD 動画ファイルは同時に 1 つのみ再生可能です。縦再生モードでは、FHD 動画ファイルを 3 つ同時に再生できます。また、UHD 動画ファイルは同時に 1 つのみ再生可能です。
- **Microsoft Office** ファイル (PPT および Word ファイル) と **PDF** ファイルの場合、同時に使用できるファイル タイプは 1 つのみです。
- LFD(*.LFD) ファイルはサポートされていません。
- 解像度が 3840 × 2160 を超えるコンテンツはサポートされません。

音声出力の制限事項

- 複数の音声出力を使用することはできません。
- 再生の優先順位: ネットワーク BGM → ローカル BGM → ユーザーが選択したメイン フレームのビデオ ファイル
 - ー ネットワーク BGM: この設定は、サーバー スケジュール作成時に行うことができます。
 - ー ローカル BGM: BGM 設定は、**プレーヤー** 再生中に TOOLS ボタンを押すと表示されるツールを使って行います。
 - ー ユーザーが選択したメイン フレーム: メイン フレーム設定は、サーバー スケジュール作成時に行うことができます。

テンプレート ファイル (*.LFD)

制限事項

- USB 記憶装置に Contents および Schedules フォルダが発行されていることを確認します。
 - ー 適切に発行されたコンテンツは、USB デバイスに Published Content  として表示されます。
 - ー USB デバイスに発行したコンテンツ (Published Content ) を **内部メモリ** にコピーする場合、**内部メモリ** には Published Content  のコンテンツのみ表示されます。Contents および Schedules フォルダは、**内部メモリ** の配下には表示されません。

再生の制限事項

- 最大で 2 つのビデオ (**ビデオ**) ファイルを再生できます。
- **Microsoft Office** ファイル (PPT および Word ファイル) と **PDF** ファイルの場合、同時に使用できるファイル タイプは 1 つのみです。
- 複数の動画ファイルを同時に再生する場合、表示エリアがお互いに重なっていないか確認してください。

音声出力の制限事項

- 複数の音声出力を使用することはできません。
- 再生の優先順位: ネットワーク BGM → ローカル BGM → ユーザーが選択したメイン フレームのビデオ ファイル

ビデオコーデック

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	解像度	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
*.avi	AVI	H.264 BP/MP/HP	4096 x 2160	4096 x 2160: 30	60	Dolby Digital
*.mkv	MKV			3840 x 2160: 60		AC3
*.asf	ASF	HEVC (H.265 – Main, Main10)		60		LPCM
*.wmv	MP4	Motion JPEG	3840 x 2160	30	80	ADPCM(IMA, MS)
*.mp4	3GP	MVC	1920 x 1080	60	20	AAC
*.mov	MOV	MPEG4 SP/ASP				HE-AAC
*.3gp	FLV	Window Media Video v9 (VC1)				WMA
*.vro	VRO	MPEG2				DD+
*.mpg	VOB	MPEG1				MPEG(MP3)
*.mpeg	PS	Microsoft MPEG-4 v1, v2, v3				AC-4
*.ts	TS	Window Media Video v7(WMV1), v8(WMV2)				G.711(A-Law, μ -Law)
*.tp	SVAF	H 263 Sorenson				OPUS
*.trp		VP6				
*.flv						
*.vob						
*.svi						
*.m2ts						
*.mts						
*.webm	WebM	VP8	1920 x 1080	60	20	Vorbis
		VP9	3840 x 2160	3840 x 2160: 60	80	
*.rmvb	RMVB	RV8/9/10 (RV30/40)	1920 x 1080	60	20	RealAudio 6

その他の制限事項

- コンテンツに問題があると、コーデックが正しく機能しないことがあります。
- コンテンツまたはコンテナにエラーがある場合、動画コンテンツは再生できないか、再生できても正常に再生されません。
- TVの対応レーティングを超える標準のビットレート / フレーム レートを使用している場合、サウンドまたは動画が動作しないことがあります。
- インデックス テーブルにエラーがある場合、シーク(ジャンプ)機能は動作しません。
- ネットワーク接続を通じて動画を再生する場合、データ転送速度により動画がなめらかに再生されないことがあります。
- USB / デジタル カメラ デバイスによっては、TV に対応していないものがあります。
- HEVC コーデックは MKV / MP4 / TS コンテナでのみ使用できます。
- MVC コーデックは部分的にサポートされます。

ビデオ デコーダ

- H.264 UHD はレベル 5.1 まで、H.264 FHD はレベル 4.1 まで対応します。(TV は FMO / ASO / RS には対応しません)
- HEVC UHD はレベル 5.1 まで、HEVC FHD はレベル 4.1 まで対応します。
- HEVC 8K はレベル 6.1 まで対応します。
- VC1 AP L4 には対応していません。
- GMC 2 以上には対応していません。
- 1 つのビデオ ファイルを再生中の場合は、以下の条件ではシームレス モードはサポートされません。
 - 互換性のないコーデック (MVC、VP3、MJPEG) ↔ 互換性のないコーデック
 - 互換性のないコーデック ↔ 互換性のあるコーデック
 - 解像度がモニターの解像度と異なります。
 - 周波数がモニターの周波数と異なります。

オーディオ デコーダ

- WMA は最大 10 Pro 5.1 チャンネル、M2 プロファイルに対応しています。
- WMA1、WMA Lossless / 音声には対応していません。
- QCELP、AMR NB/WB には対応していません。
- Vorbis は最大 5.1 チャンネルに対応しています。
- Dolby Digital Plus は最大 5.1 チャンネルに対応しています。
- 対応サンプル レートは、8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、および 48 kHz で、コーデックによって異なります。

画像

- 互換性がある画像ファイル形式: JPEG、PNG、BMP
 - 32 ビット、24 ビットおよび 8 ビットの BMP ファイルを使用できます。
- サポートされている最大解像度: 7680 x 4320 (JPEG)、4096 x 4096 (PNG, BMP)
 - 1 つの LFD ファイルで 10 ファイルを再生時 – 5120 x 5120
- 対応最大ファイル サイズ: 20MB
- サポートされる **スライドショー効果**: 9 のエフェクト
(**フェード 1、フェード 2、ブラインド、スパイラル、チェッカー、リニア、ストリップ、ワイプ、ランダム**)

Power Point

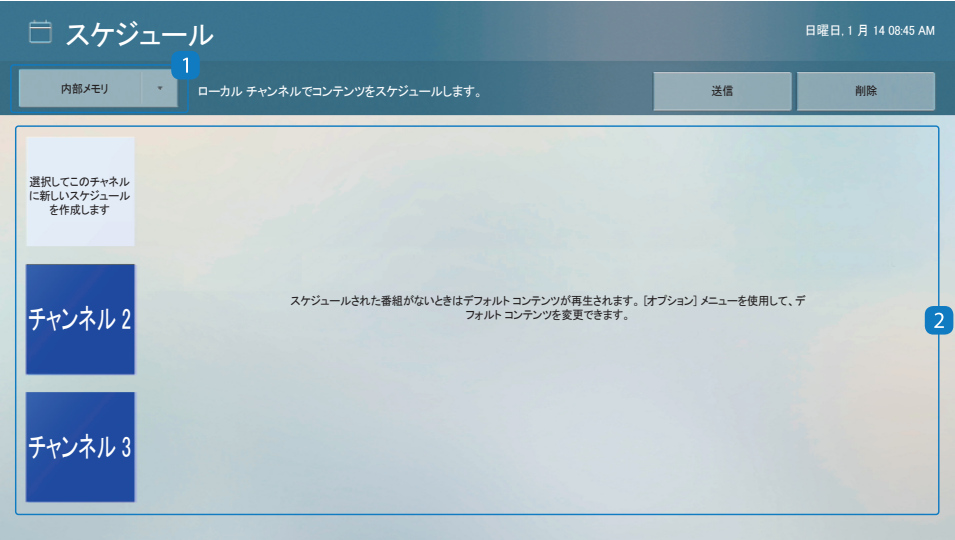
PDF

WORD

<ul style="list-style-type: none"> • 互換性がある文書ファイル形式 <ul style="list-style-type: none"> - 拡張子 : ppt, pptx - バージョン : Office 97 ~ Office 2013 • サポートされていない機能 <ul style="list-style-type: none"> - アニメーション効果 - 3D オブジェクト (2D で表示されます) - ヘッダーおよびフッター (一部のサブ項目はサポートされていません) - Word Art - アライメント グループ アライメント エラーが発生することがあります - Office 2007 SmartArt は完全にはサポートされません。115 のサブ項目のうち 97 項目をサポートしています。 - オブジェクト挿入 - 半角文字 - 文字間隔 - チャート - 縦書き 一部のサブ項目はサポートされていません。 - スライドのノートおよびハンドアウト 	<ul style="list-style-type: none"> • 互換性がある文書ファイル形式 <ul style="list-style-type: none"> - 拡張子 : pdf • サポートされていない機能 <ul style="list-style-type: none"> - 1 ピクセル未満のコンテンツは、パフォーマンス低下問題の原因となるためサポートされません。 - イメージのマスクおよびタイル表示を含むコンテンツはサポートされません。 - テキストの回転を含むコンテンツはサポートされません。 - 3D Shadow Effect はサポートされません。 - 一部の文字はサポートされません (特殊文字は正しく表示されないことがあります) 	<ul style="list-style-type: none"> • 互換性がある文書ファイル形式 <ul style="list-style-type: none"> - 拡張子 : .doc, .docx - バージョン : Office 97 ~ Office 2013 • サポートされていない機能 <ul style="list-style-type: none"> - ページの背景効果 - 一部の段落スタイル - Word Art - アライメント グループ アライメント エラーが発生することがあります - 3D オブジェクト (2D で表示されます) - Office 2007 SmartArt は完全にはサポートされません。115 のサブ項目のうち 97 項目をサポートしています。 - チャート - 半角文字 - 文字間隔 - 縦書き 一部のサブ項目はサポートされていません。 - スライドのノートおよびハンドアウト
--	--	---

スケジュール

HOME  → スケジュール → ENTER 



選択した記憶装置からインポートされるスケジュールを確認できます。

番号	説明
1	スケジュールの保存場所を選択します。
2	コンテンツの再生スケジュールを作成/編集/削除/表示します。

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

クローン製品

HOME  → クローン製品 → ENTER 



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

製品内の設定を外部記憶装置にエクスポートします。外部記憶装置から設定をインポートすることも可能です。

このオプションは複数の製品に同じ設定を割り当てたいときに便利です。

外部記憶装置内に複製ファイルがない場合

- 1 外部記憶装置を接続して、次に **クローン製品** 機能を実行します。
- 2 **外部ストレージ機器にクローン ファイルが見つかりません。この機能の設定を外部ストレージ機器にエクスポートしますか?** メッセージが表示されます。
- 3 **エクスポート** を選択し、設定をエクスポートします。

外部記憶装置内に複製ファイルがある場合

- 1 外部記憶装置を接続して、次に **クローン製品** 機能を実行します。
- 2 **クローン ファイルが見つかりません。オプションを選択してください。** メッセージが表示されます。
外部ストレージからインポート または **外部ストレージにエクスポート** 機能を実行します。
 - **外部ストレージからインポート**: 外部記憶装置に保存されている設定を製品にコピーします。
― 設定が完了すると、製品は自動的に再起動されます。
 - **外部ストレージにエクスポート**: 製品内の設定を外部記憶装置にコピーします。

ID 設定

HOME  → ID 設定 → ENTER 




– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

セットに ID を割り当てます。

機器 ID

各製品の一意の ID 番号を設定します。(範囲:0~224)

- ▲/▼ を押して数字を選択し、 を押します。
- リモコンの数字ボタンを使用して番号を入力します。

PC 接続ケーブル

ディスプレイと PC との接続に使用するケーブルの種類を選択します。

- **RS232C ケーブル**
RS232C ケーブルを通じて MDC と接続します。
- **RJ-45 (LAN) ケーブル**
RJ45 ケーブルを通じて MDC と接続します。

画像分割

HOME  → **画像分割** → ENTER 



－ 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

画像分割のために接続された複数のディスプレイのレイアウトをカスタマイズします。

さらに、全体の映像の一部を表示するか、または接続された複数のディスプレイそれぞれに同じ映像をリピートします。

複数の画像を表示するには、MDC ヘルプまたは MagicInfo ユーザー ガイドを参照してください。モデルによっては、MagicInfo 機能をサポートしないものがあります。

画像分割

画像分割 を有効または無効にできます。

画像分割を行う場合は、**オン** を選択します。

- **オフ / オン**

水平方向 x 垂直方向

この機能によりビデオウォール ディ스플레이がビデオウォール行列設定に基づいて自動的に分割されます。

ビデオウォール行列を入力します。

ビデオウォール ディ스플레이が設定した行列に基づいて分割されます。ディスプレイ デバイスの縦または横の台数は、それぞれ 1～15 の範囲で設定できます。

－ ビデオウォール ディ스플레이は最大で 225 の画面に分割できます。

－ **水平方向 x 垂直方向** オプションは、**画像分割** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。

画面の位置

分割画面を再配列するには、**画面の位置** 機能を使って行列内の各製品について数の調整を行います。

画面の位置 を選択すると、ビデオウォールを形成している製品に割り当てられている数に応じてビデオウォール行列が表示されます。

製品を再配列するには、リモコンの方向ボタンを使って製品を別の希望の番号まで移動します。◀▶ボタンを押します。

- **画面の位置** を使用すれば、画面を最大 225 個 (15 x 15) に分割できます。
- **画面の位置** オプションは、**画像分割** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。
- この機能を使用するときは、**水平方向 x 垂直方向** を設定してください。

フォーマット

ビデオウォール ディスプレイに映像を表示する方法を選択します。

- **フルモード**: マージンを取らずに映像を全画面で表示します。
- **ナチュラルモード**: サイズの拡大や縮小を行わずに元の縦横比で映像を表示します。
- **フォーマット** オプションは、**画像分割** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。

ネットワーク ステータス

HOME  → **ネットワーク ステータス** → ENTER 



- 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。
- 現在のネットワークとインターネット接続を確認します。

オン/オフタイマー

HOME  → オン/オフタイマー → ENTER 



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

– この機能を使用する前に、必ず **現在時刻設定** を設定してください。

オンタイマー

オンタイマー を設定すると、選択した日時に自動的に製品がオンになります。

指定した音量または入力ソースで製品がオンになります。

オンタイマー: 7 つのオプションの 1 つを選択してオン タイマーを設定します。現在時刻を先に設定してから使用してください。

(**オンタイマー 1** ~ **オンタイマー 7**)

– **MagicInfo** モードでは、**オンタイマー** を内部メモリ/USB メモリ オプションで使用できますが、内部メモリを使用することをお勧めします。

– バッテリー駆動の USB デバイスを使用すると認識に時間がかかる場合があるため、**オンタイマー** 機能の正しい動作は保証できません。

- **設定**: **オフ**、**1 回**、**毎日**、**月～金**、**月～土**、**土～日** または **手動** を選択します。**手動** を選択した場合は、製品をオンにする日付を **オンタイマー** 選択できます。
 - 選択された日付はチェックマークで示されます。
- **時刻**: 時刻（時および分）を設定します。数字の入力には、数字ボタンか上下の矢印ボタンを使用します。左右の矢印キーで入力フィールドを変更します。
- **音量** (内蔵スピーカー搭載モデル用): 音量レベルを設定します。上下の矢印ボタンを使用して音量を変更します。
- **入力ソース**: 入力ソースを選択します。
- **コンテンツ** (**MagicInfo** モードで **入力ソース** が **内部/USB** に設定されている場合): 製品の電源をオンにしたら、USB デバイスまたは内部メモリから、再生するファイル (音楽、写真、ビデオなど) をすぐに選択します。

オフタイマー

7つのオプションの1つを選択してオフタイマー（オフタイマー）を設定します。（オフタイマー1～オフタイマー7）

- **設定:** オフ、1回、毎日、月～金、月～土、土～日 または 手動 を選択します。手動 を選択した場合は、製品をオフにする日付を オフタイマー 選択できます。
 - 選択された日付はチェックマークで示されます。
- **時刻:** 時刻（時および分）を設定します。数字の入力には、数字ボタンか上下の矢印ボタンを使用します。左右の矢印キーで入力フィールドを変更します。

休日の管理

休日として指定されている期間は、タイマーが無効になります。

- **休日の追加:** 休日として追加したい期間を指定します。
 - ▲/▼ ボタンを使用して追加する休日の開始日と終了日を選択し、完了 ボタンをクリックします。期間が休日のリストに追加されます。
 - **開始日:** 休日の開始日を設定します。
 - **終了日:** 休日の終了日を設定します。
- **削除:** 休日のリストから選択した項目を削除します。
- **編集:** 休日項目を選択して、次に日付を変更します。
- **適用されるタイマーの設定:** 祝祭日に起動しない場合は オンタイマー と オフタイマー を設定します。
 - [] を押して、起動しない オンタイマー と オフタイマー 設定を選択します。
 - 選択した オンタイマー と オフタイマー が起動しなくなります。

ティッカー

HOME  → ティッカー → ENTER 



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

ビデオまたは画像の表示中にテキストを入力すると、テキストが画面に表示されます。

– この機能を使用する前に、必ず **現在時刻設定** を設定してください。

- **オフ / オン:** ティッカー の使用の有無を設定します。
- **メッセージ:** 画面に表示するメッセージを入力します。
- **時刻:** メッセージ を表示する **開始時刻** と **終了時刻** を設定します。
- **フォント オプション:** メッセージのフォントと色を指定します。
- **位置:** メッセージ の表示位置を選択します。
- **スクロール:** ティッカー のスクロール効果のオン/オフを切り替えます。メッセージのスクロール **方向** と **速度** を指定します。
- **プレビュー:** ティッカー の設定をプレビューします。

URL 起動ツール

HOME  → URL 起動ツール → ENTER 



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

URL 起動ツール 機能の使用方法的詳細については、製品を購入した販売店にお問い合わせください。

- **URL 起動ツール** 機能を使用するには、**システム** の **再生手段** を **URL 起動ツール** に設定します。
(MENU  → **システム** → **再生手段** → **URL 起動ツール**)

URL起動ツール設定

HOME  → URL起動ツール設定 → ENTER 



– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

– **URL 起動ツール** 機能の使用方法的詳細については、製品を購入した販売店にお問い合わせください。

- **Web アプリケーションのインストール**: URL を入力して Web アプリケーションをインストールします。
- **USB 機器からインストール**: USB 記憶装置から Web アプリケーションをインストールします。
- **アンインストール**: インストールした Web アプリケーションをアンインストールします。
- **タイムアウトの設定**: URL に接続時のタイムアウト時間を設定します。
- **開発者モード**: 開発者モードを有効にします。

第 6 章

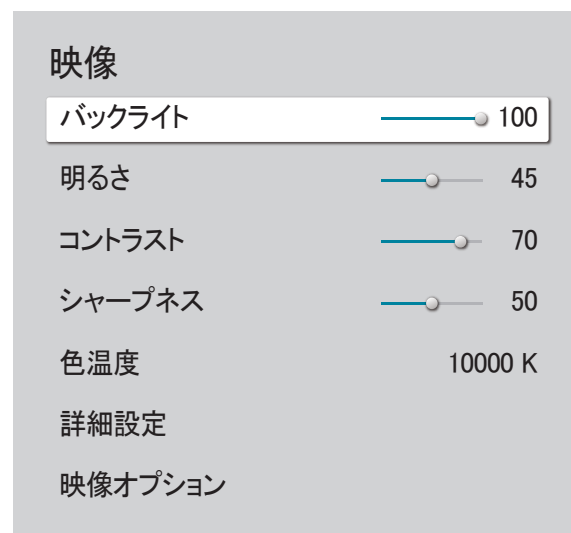
画面調整

映像 設定（バックライト、色調 など）を行います。

映像 メニュー オプションのレイアウトは、製品によって異なる場合があります。

バックライト / 明るさ / コントラスト / シャープネス

MENU  → 映像 → ENTER 



本製品では画質調整のためのオプションがいくつか提供されています。

- ー 本製品の入力に接続されている各外部機器の設定を調整したり保存することができます。
- ー 映像の明るさを下げることにより、消費電力を抑えることができます。

ー 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

色温度

色温度が設定されます。値と温度が同時に上がるため、青色の比率が上がります。(範囲:2800K-16000K)

— 色調 が **オフ** になっているときに使用できます。

MENU  → 映像 → 色温度 → ENTER 

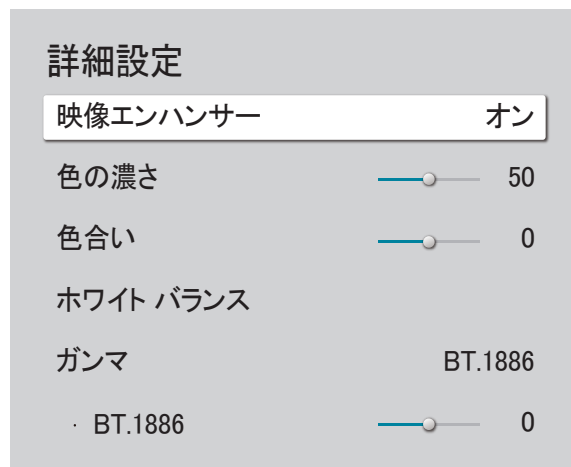
映像

色温度 10000 K

— 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

詳細設定

MENU  → 映像 → 詳細設定 → ENTER 



－ 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

詳細な映像設定を構成し、好みに応じて映像を設定します。

映像エンハンサー

色とシャープネスを高めて表示します。

- ・ オフ / オン

色の濃さ

色の彩度を調整します。値が 100 に近づくと、色の彩度が高くなります。(範囲:0~100)

色合い

緑と赤の色合いレベルの比率を調整します。値を上げると、赤と緑色の彩度が高くなります。(範囲:0~50)

ホワイト バランス

映像の色温度を調整し、白いオブジェクトをより明るく表示します。

2 ポイント

2 つのセクションで赤、緑、青の光度レベルを調整して、ホワイト バランスを正確に最適化します。

- **Rオフセット** / **Gオフセット** / **Bオフセット**: 暗い領域の赤、緑、青の色の比率を調整します。
- **Rゲイン** / **Gゲイン** / **Bゲイン**: 明るい領域の赤、緑、青の色の比率を調整します。
- **リセット**: ホワイト バランスの設定をデフォルト値に戻します。

20 ポイント設定

赤、緑、青の明るさを調整することで、20 ポイント 間隔でホワイト バランスを制御します。

20 ポイント

20 のセクションで赤、緑、青の光度レベルを調整して、ホワイト バランスを正確に最適化します。

- **オフ**(●) / **オン**(●)
- **間隔**: 調整する間隔を選択します。
- **赤**: 赤のレベルを調整します。
- **緑**: 緑のレベルを調整します。
- **青**: 青のレベルを調整します。
- **リセット**: 現在の 20 ポイントのホワイト バランスをデフォルト値に戻します。

— 外部機器によっては、本機能に対応していない場合があります。

ガンマ

映像の中間域の明るさを調整します。

- **HLG** / **ST.2084** / **BT.1886** / **S カーブ**

— **ガンマ** 設定の **HLG**、**ST.2084**、および **BT.1886** は、入力ビデオの設定によって変更される場合があります。

HLG / ST.2084 / BT.1886 / S カーブ

HLG、**ST.2084**、**BT.1886**、**S カーブ** の映像レベルを調整します。

コントラスト エンハンサ

コントラストのバランスを自動的に調整して、明るい領域と暗い領域との間の極端な差異を抑えます。

- **オフ** / **低** / **中** / **高**

色深度 (黒)

諧調レベルを選択して画面の奥行きを調整します。

- **オフ** / **暗** / **暗く** / **最も暗く**

鮮明

赤のレベルを上げ下げして、肌色を調整します。

RGB のみモード

赤、緑、および青色チャンネルの彩度と色合いを微調整します。

- オフ / 赤 / 緑 / 青

色空間の設定

色空間の設定を構成して、画面の色のスペクトルを改善できます。

色空間

色空間を選択します。

- 自動 / ネイティブ / カスタム

色の濃さ、赤、緑、青 および リセット を調整するには、色空間 を カスタム に設定します。

入力信号の拡張

HDMI 接続の入力信号範囲を拡張します。

- HDMI1 (オフ(●)/ オン(●))
- HDMI2 (オフ(●)/ オン(●))

入力信号の拡張 を オン に設定した場合、最大 4096 x 2160p (60 Hz) の解像度を利用できます。

入力信号の拡張 を オフ に設定した場合、最大 1920 x 1080 (60 Hz) の解像度を利用できます。

DP 入力ソースから HDMI2 入力信号の拡張をオンまたは オフにする際に、画面が点滅することがあります。

UHD 入力信号のサポートされる解像度

UHD 入力信号のサポートされる解像度を確認します。

- 解像度: 3840 x 2160p、4096 x 2160p

UHD 信号が入力だったとしても、実際の画面では 1920 x 1080 @ 60Hz 解像度として出力が表示されます。

入力信号の拡張 が オフ に設定されている場合

フレームレート (fps)	色深度 / 彩度サンプリング	RGB 4:4:4	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2	YCbCr 4:2:0
50 / 60	8 ビット	–	–	–	0

入力信号の拡張 が オン に設定されている場合

フレームレート (fps)	色深度 / 彩度サンプリング	RGB 4:4:4	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2	YCbCr 4:2:0
50 / 60	8 ビット	0	0	0	0
	10 ビット	–	–	0	0
	12 ビット	–	–	0	0

動画画面の明るさ調節

動画表示中に画面の明るさを下げて消費電力を抑えます。

- オフ / オン

映像オプション

MENU  → 映像 → 映像オプション → ENTER 

映像オプション

色調	オフ
デジタル クリーン ビュー	オフ
HDMI 階調レベル	自動
フィルム モード	オフ
Auto Motion Plus の設定	自動高
ローカル ディミング	オン
ダイナミック ピーキング	

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

色調

表示したい最適な色温度を選択します。

- オフ / 寒色系 / 標準 / 暖色系1 / 暖色系2 / ナチュラル

– 本製品の入力ポートに接続されている各外部機器の設定は変更できます。

デジタル クリーン ビュー

画像ノイズを削減し、集中力を乱すちらつきなどを抑えます。

- 自動 / オフ

HDMI 階調レベル

黒のレベルを調整して、HDMI 映像の明るさとコントラストを最適化します。

- 標準 / 低 / 自動

フィルム モード

古いビデオソースからのフレーム移行をスムーズに行ってください。この機能は、入力信号が HDMI (1080i) の場合にのみ使用できます。

- オフ / 自動1 / 自動2

Auto Motion Plus の設定

映像のシャープネスを高めて、高速な画像を最適化します。

映像オプション

色調	オフ
デジタル クリーン ビュー	オフ
HDMI 階調レベル	自動
フィルム モード	オフ
Auto Motion Plus の設定	自動高
ローカル ディミング	オン
ダイナミック ピーキング	

ローカル ディミング

最適なコントラストにするため、個別の画面上の領域の明るさレベルを調整します。

- オフ / 低 / 標準 / 高

ダイナミック ピーキング

バックライトは、現在の条件下で最適なコントラストを得られるように自動調整されます。

- オフ / オン

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

映像の設定を適用

機器に接続されているすべての外部機器、または現在のソースのみに対して映像の設定を適用します。

- All Sources / 現在の入力

MENU  → 映像 → 映像の設定を適用 → ENTER 

映像

映像の設定を適用

All Sources

— 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

映像サイズの設定

MENU  → 映像 → 映像サイズの設定 → ENTER 

映像サイズの設定

画像サイズ	16:9 標準
・ 画面に合わせる	オフ
・ ズームと位置	

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

画面に表示する映像のサイズとアスペクト比を選択します。

– **映像サイズの設定** メニューは、ランドスケープ モードの場合にのみ有効になります。

画像サイズ

現在の入力ソースによって、表示される画面調整オプションは異なります。

- **16:9 標準**: 映像を**16:9 標準**ワイド モードに設定します。
- **カスタム**: ユーザーの好みに合わせて解像度を変更します。
- **4:3**: 映像をベーシック (**4:3**) モードに設定します。

– 長期にわたる **4:3** フォーマットのご使用は避けてください。

画面の左右または上下に表示される境界線によって、残像（画面の焼き付き）が起こる場合があります、これは保証外となります。

画面に合わせる

画像位置を調整します。選択すると、プログラム全体の画像が表示されます。画像の一部が切り取られることはありません。

- **オフ** / **オン** / **自動**

ズームと位置

画像のズームと位置を調整します。この機能は、**画像サイズ** が **カスタム** に設定されている場合にのみ使用できます。

– 元の位置に画像表示を戻す場合は、**ズームと位置** 画面で **リセット** を選択します。画像が、デフォルトの位置に表示されるように設定されます。

映像のリセット

すべての映像の設定を工場出荷時の設定に戻します。

MENU  → 映像 → 映像のリセット → ENTER 

映像

映像のリセット

－ 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

第 7 章

オンスクリーン表示

画面の向き

MENU  → オンスクリーン表示 → 画面の向き → ENTER 

画面の向き

オンスクリーン メニューの向き	ランドスケープ
入力ソース コンテンツの向き	ランドスケープ
アスペクト比	全画面

— 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

オンスクリーン メニューの向き

オンスクリーン メニューを横向きまたは縦向きで表示するかどうかを選択します。

- **ランドスケープ**: ランドスケープ モードでメニューを表示します。
- **ポートレイト**: 製品画面の右側にポートレイト モードでメニューを表示します。

入力ソース コンテンツの向き

製品の画面の向きを変更します。

— この機能は、解像度が 7680 × 4320 を超える入力ソースには利用できません。

- **ランドスケープ**: 画面をランドスケープ モードで表示します。
- **ポートレイト**: 画面をポートレイト モードで表示します。

アスペクト比

回転した画面を全画面またはオリジナルのどちらかに設定します。

- **全画面**: 回転した画面を全画面表示します。
 - **オリジナルの縦横比**: 回転した画面をオリジナルのアスペクト比で表示します。
- **入力ソース コンテンツの向き** を **ポートレイト** に設定している場合にのみ使用できます。

画像保護

MENU  → オンスクリーン表示 → 画像保護 → ENTER 

自動保護起動時間

事前に定義した時間だけ静止画像が画面に表示されると、画像の焼き付きを防ぐためスクリーンセーバーが起動します。

- オフ / 2 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 8 時間 / 10 時間

画像焼き付き保護

画面の焼き付きの可能性を抑えるため、本製品には 画像焼き付き保護 (画面焼き付き防止技術) が導入されています。

画像焼き付き保護 では、画面上の映像をわずかに動かします。

タイマー

画像焼き付き保護 にタイマーを設定できます。

指定した期間を過ぎると 画像焼き付き保護 機能は自動的に停止します。

タイマー

オフ

繰り返し: モード に設定された残像防止パターンを指定の間隔 (期間) で表示します。

間隔: モード に設定された残像防止パターンを指定の期間 (開始時刻 から 終了時刻 まで) 表示します。

— モード、周期、時刻、開始時刻 および 終了時刻 は、タイマーが繰り返し または 間隔 に設定されている場合にのみ有効になります。

- **モード**: 表示する画面保護パターンを選択します。
 - **ピクセル**: 画面上のピクセルが連続的に黒色と入れ替わります。
 - **ロールバー**: 縦棒を左から右に移動します。
 - **フェーディング画面**: 画面全体が明るくなり、次に暗くなります。
- **ロールバー** および **フェーディング画面** パターンは、指定した繰り返し周期または時刻に関係なく一度だけ表示されます。
- **周期**: 画像焼き付き保護 機能を有効にする間隔を指定します。
 - **タイマー** に **繰り返し** が設定されているときには、このオプションが有効になります。
- **時刻**: 画像焼き付き保護 をオンにし続ける継続時間を指定します。
 - **タイマー** が **繰り返し** に設定され、かつ **モード** が **ピクセル** に設定されているとき有効となります。
- **開始時刻**: 画面保護機能をオンにする時刻を設定します。
 - **タイマー** に **間隔** が設定されているときには、このオプションが有効になります。
- **終了時刻**: 画面保護機能をオフにする時刻を設定します。
 - **タイマー** に **間隔** が設定されているときには、このオプションが有効になります。

すぐに表示

スクリーン セーバーを選択して、素早く表示されるように設定します。

- オフ / ピクセル / ロールバー / フェーディング画面

メッセージ表示

MENU  → **オンスクリーン表示** → **メッセージ表示** → ENTER 

メッセージ表示

ソース情報	オン
信号メッセージなし	オン
MDC メッセージ	オン
ダウンロード状態のメッセージ	オフ

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

ソース情報

入力ソースが変更されたときにソース OSD を表示するかどうかを選択します。

- **オフ** / **オン**

信号メッセージなし

信号が検出されないとき無信号 OSD を表示するかどうかを選択します。

ソース機器が接続されていないときには、**ケーブルが接続されていません** とメッセージが表示されます。

- **オフ** / **オン**

MDC メッセージ

本製品が MDC で制御されたとき MDC OSD を表示するかどうかを選択します。

- **オフ** / **オン**

ダウンロード状態のメッセージ

サーバーまたは他のデバイスからコンテンツをダウンロードする際の状況を表示する場合に選択します。

- **オフ** / **オン**

言語

MENU  → **オンスクリーン表示** → **言語** → ENTER 

オンスクリーン表示

言語 日本語

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

メニューの言語を設定します。

– 言語設定への変更は、画面のメニュー表示のみに対して適用されます。ご使用の PC のその他の機能には適用されません。

オンスクリーン表示をリセット

MENU  → **オンスクリーン表示** → **オンスクリーン表示をリセット** → ENTER 

オンスクリーン表示

オンスクリーン表示をリセット

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

このオプションは、**オンスクリーン表示** の現在の設定を工場出荷時の設定に戻します。

第 8 章 ネットワーク

ネットワーク ステータス

MENU  → ネットワーク → ネットワーク ステータス → ENTER 

現在のネットワークおよびインターネットの状態を確認できます。

ネットワーク設定を開く

MENU  → ネットワーク → ネットワーク設定を開く → ENTER 

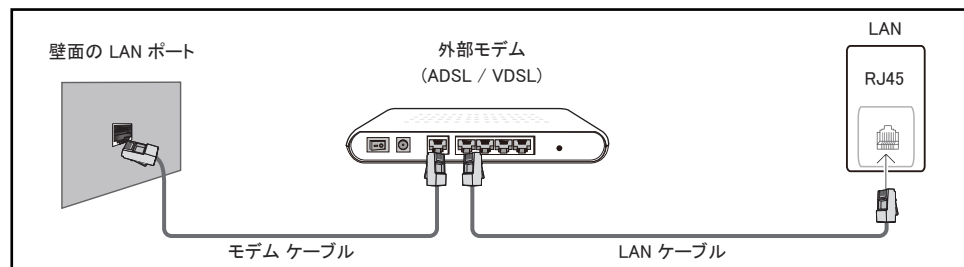
ネットワーク設定を構成することで、利用可能なネットワークに接続できます。

ネットワーク設定（有線）

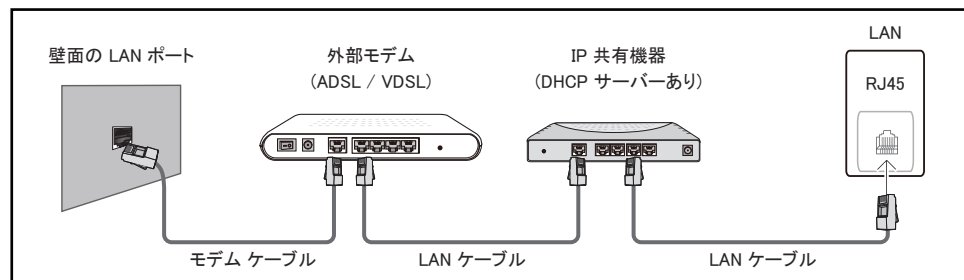
有線ネットワークに接続する

ケーブル経由で本製品を LAN に接続する方法として、以下の 3 つの方法があります。

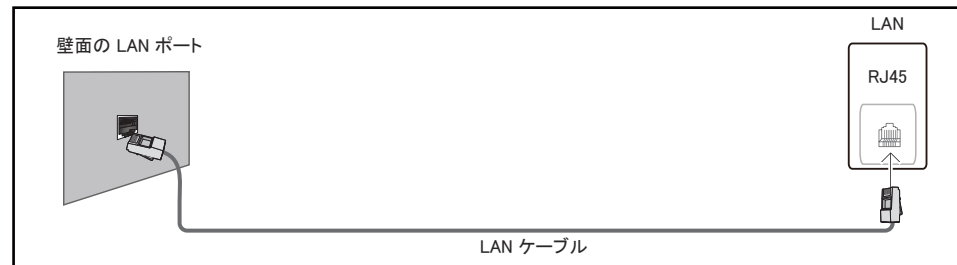
- LAN ケーブルを使用して本製品の背面にある LAN ポートと外部モデムとを接続し、本製品を LAN に接続します。
下図を参照してください。



- 本製品の背面にある LAN ポートと外部モデムに接続されている IP 共有機とを接続し、本製品を LAN に接続します。接続には LAN ケーブルをご使用ください。下図を参照してください。



- ご使用のネットワーク構成によっては、LAN ケーブルを使用して直接本製品の背面にある LAN ポートと壁にあるネットワーク接続用の差し込み口とを接続し、本製品を LAN に接続することができます。
下図を参照してください。壁にあるネットワーク接続用の差し込み口は、ご自宅のモデムまたはルーターに接続されています。



動的ネットワークをご使用の場合は、DHCP（動的ホスト設定プロトコル）に対応している ADSL モデムやルーターを使用してください。DHCP に対応しているモデムやルーターをご使用の場合、本製品がインターネットに接続するために必要な **IP アドレス**、**サブネット マスク**、**ゲートウェイ**、および DNS 値は自動的に取得されるため、手動で入力する必要はありません。ホームネットワークのほとんどは動的ネットワークです。

ネットワークによっては固定 IP アドレスを必要とするものもあります。ネットワークで固定 IP アドレスが必要な場合、ネットワーク接続をセットアップする際に、ご利用の製品の **IP 設定** に **IP アドレス**、**サブネット マスク**、**ゲートウェイ**、および DNS の値を手動で入力する必要があります。**IP アドレス**、**サブネット マスク**、**ゲートウェイ**、および DNS 値は、ご契約のインターネット サービス プロバイダ (ISP) にお問い合わせの上、入手してください。

Windows コンピュータをご使用の場合、コンピュータからこれらの設定値を入手することもできます。

- ご使用のネットワークが固定 IP アドレスを必要とする場合、DHCP 対応の ADSL モデムを使用することも可能です。
- DHCP 対応の ADSL モデムでは固定 IP アドレスもご使用になれます。

ソフトウェア アップグレードの実行など、インターネット サービスに使用するネットワーク接続を設定します。

自動 ネットワーク設定を開く(有線)

LAN ケーブルを使用してネットワークに接続します。

必ず LAN ケーブルを先に接続してください。

自動セットアップの方法

1 **ネットワーク設定を開く** を選択します。**ネットワーク設定を開く** セッションが開始します。

2 ネットワーク テスト画面が表示されるので、ネットワーク接続を確認します。

接続が確認されると、「**成功! 機器はインターネットに接続しています。オンライン サービスの使用に問題がある場合は、インターネット サービス プロバイダーにお問い合わせください。**」とメッセージが表示されます。

― 接続プロセスが失敗するときは、LAN ポートの接続を確認してください。

― 自動プロセスでネットワーク接続の値を検出できない場合、または接続を手動で設定する場合、次のセクション(ネットワーク設定を開くの手動設定(有線))に進みます。

手動 ネットワーク設定を開く(有線)

作業環境によっては静的 IP アドレスが使用されていることがあります。

その場合は、ネットワーク管理者に **IP アドレス**、**サブネット マスク**、**ゲートウェイ**および DNS サーバーアドレスを問い合わせてください。それらの値を手動で入力します。



ネットワーク接続値の取得

ほとんどの Windows コンピュータでネットワーク接続値を見るには、次の手順を行います。

- 1 画面の右下にあるネットワーク アイコンを右クリックします。
- 2 ポップアップ メニューが表示されるので、ステータスをクリックします。
- 3 ダイアログが表示されるので、Support タブをクリックします。
- 4 Support タブで Details ボタンをクリックします。ネットワーク接続値が表示されます。

― 設定のパスは、インストールされている OS によって異なります。

手動セットアップの方法

- 1 **ネットワーク設定を開く** を選択します。**ネットワーク設定を開く** セッションが開始します。
- 2 ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。キャンセル を押します。検証プロセスが停止します。
- 3 ネットワーク接続画面の **IP 設定** を選択します。**IP 設定** 画面が表示されます。
- 4 上部のフィールドを選択して、 を押し、次に **IP 設定** を **手動で入力** に設定します。**IP アドレス** のすべてのフィールドに対してこの入力プロセスを繰り返します。
 - ― **IP 設定** を **手動で入力** に設定すると、**DNS 設定** が自動的に **手動で入力** に変更されます。
- 5 入力したら、ページ下部の **OK** を選択して、次に  を押します。ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。
- 6 接続が確認されると、「**成功! 機器はインターネットに接続しています。オンライン サービスの使用に問題がある場合は、インターネット サービス プロバイダーにお問い合わせください。**」とメッセージが表示されます。

サーバー ネットワーク設定

MENU  → ネットワーク → サーバー ネットワーク設定 → ENTER 

サーバーに接続

MagicInfo サーバーに接続します。

- **サーバー アドレス / TLS / ポート**

- **TLS** オプションを使用している場合、サーバーが https を使用するように設定され、データ転送が暗号化されます。(ポート番号: 7002)
- **TLS** オプションを使用しない場合、サーバーの IP アドレスとポート番号を手動で入力します。ポート番号には 7001 を使用します。(ポート番号に 7001 を使用してサーバーに接続できない場合は、サーバー管理者に正しい番号を問い合わせるポート番号を変更してください。)
- サーバー IP アドレスとポート番号を入力します。ポート番号には 7001 を使用します。(ポート番号に 7001 を使用してサーバーに接続できない場合は、サーバー管理者に正しい番号を問い合わせるポート番号を変更してください。)
- MagicInfo Server のユーザー ガイドは、次の Web サイトを参照してください: <http://displaysolutions.samsung.com> → Support → Resources → MagicInfo Web Manual。

MagicInfo モード

製品を使用する環境に応じて適切な **MagicInfo モード** を選択してください。

- **Lite / Premium**

- **MagicInfo モード** が **Lite** に設定されている場合、サポートされているコンテンツ タイプは制限を受ける場合があります。

サーバー アクセス

MagicInfo サーバーへのアクセスを許可または拒否します。

- **許可 / 拒否**

FTP モード

FTP 動作モードを指定します。

- **アクティブ / パッシブ**

プロキシ サーバー

プロキシ サーバーの接続およびその他の機能を設定します。

オフ / オン

- **住所 / ポート / ID / パスワード**

- **住所 / ポート / ID** および **パスワード** は、**プロキシ サーバー** が **オン** になった時にのみ有効になります。

デバイス名

MENU  → ネットワーク → デバイス名 → ENTER 

デバイス名を入力または選択します。

この名前はネットワーク上のネットワーク機器に表示されます。

- **[Signage] ディスプレイ 1 ~ 6 / ユーザー入力**

第 9 章 システム

アクセシビリティ

MENU  → システム → アクセシビリティ → ENTER 

システム

アクセシビリティ

セットアップの開始

時刻

入力ソース自動切り替え

電源制御

エコソリューション

ファンの設定

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

音声ガイドの設定

音声ガイド

音声ガイド のオン/オフを切り替えます。**音声ガイド** で使用される言語は、現在のメニュー言語と同じになります。

- オフ() / オン()

– **音量**、**速度** および **音の高さ** は、**音声ガイド** が **オン** に設定されている場合にのみ有効になります。

音量

音声ガイド の音量レベルを設定します。

- 大 / 中 / ソフト

速度

音声ガイド の速度を設定します。

- とても速く / 速く / 標準 / 遅く / とても遅く

音の高さ

音声ガイド のピッチを設定します。

- 高 / 中 / 低

アクセシビリティ

音声ガイドの設定 オフ

ハイコントラスト ☐

拡大 ☐

ハイ コントラスト

メニューの背景色とフォント カラーのコントラストを高めます。このオプションを選択するとメニューは不透明になります。

- オフ(☐) / オン(☒)

拡大

メニュー エリアのサイズを拡大します。

- オフ(☐) / オン(☒)

— 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

セットアップの開始

MENU  → システム → セットアップの開始 → ENTER 

システム

セットアップの開始

製品の初回使用時に行ったような初期設定の手順を実行します。

- 4 桁の PIN 番号を入力します。デフォルトの PIN 番号は “0-0-0-0” です。
PIN 番号を変更するには、**PIN の変更** 機能を使用します。
- 機器のセキュリティのために PIN を変更してください。

— 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

時刻


MENU → システム → 時刻 → ENTER

時刻	
現在時刻設定	
NTP 設定	
DST	オフ
電源オン遅延	0

- 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

現在時刻設定 または **DST** を設定できます。さまざまな時間に関する設定を行います。

現在時刻設定

現在時刻設定 を選択します。**日付** または **時刻** を選択して、次に  を押します。

数字ボタンを使って数字を入力するか、または上下の矢印ボタンを押してください。左右の矢印キーを押すと、次の入力フィールドに移動します。完了したら、を押します。

— **日付** および **時刻** はリモコンの数字ボタンを使って直接設定できます。

NTP 設定

サーバーの URL とネットワーク時間のタイムゾーンを設定します。

DST

DST（夏時間）機能のオンとオフを切り替えます。

オフ / オン

- **開始日:** 夏時間の開始日を設定します。
- **終了日:** 夏時間の終了日を設定します。
- **タイム オフセット:** ユーザーのタイムゾーンの正しい時刻のオフセット値を選択します。

— **開始日、終了日** および **タイム オフセット** は、**DSTがオン** に設定されている場合にのみ有効になります。

電源オン遅延

複数の製品を接続する場合に過負荷出力を避けるため各製品のパワーオン時間（0～50 秒の範囲）を調整します。

入力ソース自動切り替え

MENU  → システム → 入力ソース自動切り替え → ENTER 

入力ソース自動切り替え

入力ソース自動切り替え	オフ
プライマリ入力復元	オフ
プライマリ入力	すべて
セカンダリ 入力	HDMI1
デフォルト入力	最終入力

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

入力ソース自動切り替え

メインのソース 機器が切断されたときに、事前設定したソースまたは別のソースに切り替えます。

プライマリ入力復元

プライマリ入力ソースを有効にした場合に、選ばれたプライマリ入力ソースを復元するかを選択します。

– **プライマリ入力** が **すべて** に設定されているときは、**プライマリ入力復元** 機能は無効になります。

プライマリ入力

現在の入力から信号が受信されない場合の切り替え先となるプライマリ ソースを選択します。

セカンダリ 入力

現在の入力から信号が受信されない場合の切り替え先となるセカンダリ ソースを選択します。


– **プライマリ入力** が **すべて** に設定されているときは、**セカンダリ 入力** 機能は無効になります。

デフォルト入力

新しい入力切断された場合の切り替え先となるデフォルト入力を選択します。**最終入力** オプションには、ケーブル接続された外部入力のみを指定できます。

– **デフォルト入力** オプションを有効にするには、**入力ソース自動切り替え**を**新規入力**に設定する必要があります。

電源制御

MENU  → システム → 電源制御 → ENTER 

電源制御

自動電源オン	オフ
省電力(最大)	オン
スタンバイ制御	オン
リモート設定	オフ
電源ボタン	電源オンのみ

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

自動電源オン

この機能によって、接続するとすぐに本製品が自動的にオンになります。電源ボタンを押す必要はありません。

- オフ / オン

省電力(最大)

PC を一定時間使用しないときは、PC モニターの電源をオフにして節電してください。

- オフ / オン

スタンバイ制御

信号がないため、スリープ モードにするかどうかを決定します。

- 自動
外部機器が接続されている場合でも動作信号が検出されるまで、ディスプレイはオフのままで節電します。
ソース機器が接続されていないときには、**ケーブルが接続されていません** とメッセージが表示されます。
- オフ
入力信号が検出されないときには、**信号なし** とメッセージが表示されます。
 - ソース機器が接続されているにもかかわらず、「**信号なし**」のメッセージが表示される場合は、ケーブルの接続と入力信号デバイスの設定を確認します。
 - **信号メッセージなし** が **オフ** に設定されている場合、**信号なし** メッセージは表示されません。
この場合、**信号メッセージなし** を **オン** に設定します。
- オン
入力信号が検出されない場合、ディスプレイはオフになり節電します。

電源制御


自動電源オン	オフ
省電力（最大）	オン
スタンバイ制御	オン
リモート設定	オフ
電源ボタン	電源オンのみ



リモート設定

この機能により製品の電源をオフにしてもネットワークの電源はオンのままになります。

- **オフ / オン**

電源ボタン

リモコンの電源ボタン  は、電源のオンのみ、またはオンとオフの両方を行うように設定できます。

- **電源オンのみ**: 電源のオンのみを行うようにリモコンの電源ボタン  を設定します。
- **電源オン/オフ**: 電源のオンとオフの両方を行うようにリモコンの電源ボタン  を設定します。

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

エコ ソリューション

MENU  → システム → エコ ソリューション → ENTER 

エコ ソリューション

輝度の制限	オン
省電力モード	<input type="radio"/>
エコ センサー	オフ
・ バックライト (最小輝度)	0
画面ランプ スケジュール	オフ
無信号電源オフ	15 分
自動電源オフ	オフ (推奨)

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

輝度の制限

輝度の制限 のオン/オフを切り替えます。**オン** を選択すると、ディスプレイの明るさは抑えられ、節電できます。

- オフ / オン

省電力モード

画面の明るさを調整することにより電力消費を抑えます。

- オフ()/ オン()

エコ センサー

周囲光のレベルに応じて、映像の明るさを自動的に調整します。

- オフ / オン

– 画面のコントラストが十分でない時は **エコ センサー** を **オフ** に設定します。もし **エコ センサー** が **オフ** の時は、画面がエネルギー基準に適合していない可能性があります。

バックライト (最小輝度)

サイネージ画面の明るさを最小に設定します。この機能は、値が **映像** メニューの **バックライト** 設定で設定された値より低い場合にのみ動作します。

- **エコ センサー** が **オン** のときは、周囲の光量に合わせてディスプレイの輝度が (わずかに暗くまたはわずかに明るく) 変化します。
- **エコ センサー** が **オン** に設定されている場合にのみ使用できます。

エコソリューション

輝度の制限	オン
省電力モード	オフ
エコ センサー	オフ
・ バックライト (最小輝度)	0
画面ランプ スケジュール	オフ
無信号電源オフ	15 分
自動電源オフ	オフ (推奨)

— 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

画面ランプ スケジュール

画面ランプ スケジュール

ランプ スケジュールを有効または無効にします。

- オフ / オン

スケジュール1、スケジュール2

時刻

パネルの明るさを特定の時刻に ランプ で設定した明るさに変更します。

ランプ

パネルの明るさを調整します。値が 100 に近くなるほどパネルは明るくなります。

- 0 ~ 100

無信号電源オフ

どのソースからも信号がない場合にデバイスをオフにすることによって電気を節約します。

— この機能は、ディスプレイがスタンバイ モードの場合は動作しません。

— 指定された時刻に本製品の電源が自動的にオフになります。必要に応じて時刻を変更することができます。

自動電源オフ

ユーザー操作が検出されなくなってから、どのくらいの時間が経過したらディスプレイの電源をオフにするかを選択します。

ファンの設定

MENU  → システム → **ファンの設定** → ENTER 

ファンの設定

ファン制御	自動
ファン速度の設定	100
屋外モード	オフ

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

各セットのファンの速度と温度に関連する項目を設定します。

ファン制御

ファン速度設定は、自動または手動のいずれかを選択します。

- **自動** / **手動**

ファン速度の設定

ファンの速度を 1～100 の範囲で設定します。

– **ファン制御** が **手動** になっているときに使用できます。

屋外モード

0 ° C 未満の低温で製品を使用する場合、**屋外モード** を必ず「**オン**」にしてください。

この機能により製品の内部温度が一定に保たれ、製品の電源がオンになったときに製品が正常に起動できるようになります。

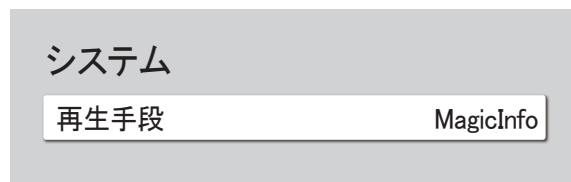
- **オフ** / **オン**

– この機能が「**オン**」になっているとき、電源ケーブルを抜かないでください。

– この機能を「**オン**」にすると、「**オフ**」のときよりも、製品をオフにするときの消費電力が増えます。

再生手段

MENU  → システム → 再生手段 → ENTER 



－ 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

製品を使用する環境に応じて適切な **再生手段** モードを選択してください。
ホーム画面は設定により異なる場合があります。

- **MagicInfo / URL 起動ツール**

PIN の変更

MENU  → システム → PIN の変更 → ENTER 



－ 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

ユーザーの 4 桁の個人識別番号 (PIN) を変更します。

PIN の 4 桁の数字を選んで **新しい暗証番号を入力してください。**に入力します。同じ 4 桁の数字を **もう一度、暗証番号を入力してください。**にもう一度入力します。

新しい PIN が製品に記憶されます。

－ デフォルトの PIN 番号は “0-0-0-0” です。

－ 機器のセキュリティのために PIN を変更してください。

セキュリティ

MENU  → システム → セキュリティ → ENTER 

セキュリティ

安全ロックをオン

・ 電源オン ボタン	オン
画面モニターのロック	<input checked="" type="radio"/>
USB 自動再生ロック	オフ
リモート管理	許可
セキュリティで保護されたプロトコル	オフ
・ SNMP の設定	
サーバーのセキュリティ ステータス	
ネットワーク ロック	オフ
USB ロック	オフ

安全ロックをオン

ー 4 桁の PIN 番号を入力します。デフォルトの PIN 番号は “0-0-0-0” です。

PIN 番号を変更するには、**PIN の変更** 機能を使用します。

ー 機器のセキュリティのために PIN を変更してください。

安全ロックをオン のオンとオフを切り替えます。**安全ロックをオン** は、リモコンで実行可能な操作を制限します。**安全ロックをオン** をオフにするには、正しい PIN を入力する必要があります。

電源オン ボタン

安全ロックをオン が有効な場合、この機能をオンにすることで、リモコンの電源ボタンを使用して製品をオンにできます。

- ・ オフ / オン

画面モニターのロック

MagicInfo サーバーが画像を監視することをブロックします。

ー 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

USB 自動再生ロック

接続された USB デバイスに保存されている **MagicInfo** コンテンツを自動的に再生するかどうかを選択します。

- コンテンツは MagicInfo Premium application を使用して作成された Published Content  で、使用中の USB デバイスに発行されている必要があります。MagicInfo Premium application プログラムは、Web サイトからダウンロードできます。(http://displaysolutions.samsung.com)
- USB デバイスに発行すると、Published Content  は、接続中の USB デバイスのルート フォルダ内の Contents および Schedules フォルダに保存されます。
- **オフ**
接続された USB デバイスに保存されている **MagicInfo** コンテンツは自動的に再生されます。
- **オン**
接続された USB デバイスに保存されている **MagicInfo** コンテンツは自動的に再生されません。
- **MagicInfo** コンテンツが保存された USB デバイスを接続すると、5 秒間「**USB 自動再生ロック: オン。**」と表示されます。

リモート管理

外部コマンドを使用して、ネットワークを介した製品へのアクセスを **許可** または **拒否** に設定できます。

- **拒否 / 許可**

セキュリティで保護されたプロトコル

このデバイスと他のデバイスとの間のプロトコルをセキュリティで保護します。

- **オフ / オン**

SNMP の設定

SNMP 接続の ID とパスワードを設定します。

サーバーのセキュリティ ステータス

サーバーからこのデバイスをリモートで管理すると、このデバイスのセキュリティ ステータスを確認できるようになります。

- この機能は、**MagicInfo** サーバーに接続されている場合に有効になります。

ネットワーク ロック

外部ネットワークへのアクセスをブロックします。アクセスを許可するサーバーがあるネットワークを登録できます。

- **オフ / オン**



- 製品がネットワークに接続されていることを確認します。

USB ロック

外部 USB ポートへの接続をブロックします。



- **オフ / オン**

一般情報

MENU  → システム → 一般情報 → ENTER 

一般情報

スマート セキュリティ

Anynet+ (HDMI-CEC)	
HDMI ホット プラグ	オン
カスタム ロゴ	オフ
ゲーム モード	
空のストレージ	

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

スマート セキュリティ

ディスプレイ装置および接続している記憶装置をウイルスから守るセキュリティが装備されています。

スキャン

ディスプレイ装置および接続している記憶装置に対してウイルス チェックを行います。

隔離リスト

ウイルスが検出されたため隔離されたアイテムのリストです。

Anynet+ (HDMI-CEC)

Anynet+ は、Samsung 製品のリモコンを使用して、接続されているAnynet+ 対応の Samsung 機器を制御できる機能です。Anynet+ システムは、Anynet+ 機能を備える Samsung 製デバイスでのみ使用できます。お持ちの Samsung 製デバイスを見て Anynet+ ロゴがあれば、この機能を備えています。

- オフ()/ オン()

- Anynet+ デバイスは製品のリモコンでのみ制御可能で、製品のボタンでは制御できません。
- いくつかの状況では、製品のリモコンが機能しないことがあります。そのような場合は、Anynet+ デバイスを再選択してください。
- Anynet+ は、Anynet+ をサポートする AV 機器がスタンバイまたはオン状態のとき機能します。
- Anynet+ は合計で 12 台までの AV 機器をサポートします。ただし、同時に接続できる同じタイプのデバイスは 3 台までです。
- 機器によっては、入力信号を切り替えられないものがあります。この場合、Anynet+ (HDMI-CEC) をオフにしてください。

Anynet+ のトラブルシューティング

問題

可能な解決方法

Anynet+ が機能しない。	<ul style="list-style-type: none">• デバイスが Anynet+ デバイスかを確認してください。Anynet+ システムは Anynet+ デバイスのみをサポートします。• Anynet+ デバイスの電源コードが正しく接続されているか確認してください。• Anynet+ デバイスのビデオ/オーディオ/HDMI ケーブルの接続を確認してください。• Anynet+ (HDMI-CEC) メニューで システム が オン に設定されていることを確認します。• リモコンが Anynet+ に対応しているか確認してください。• 特定の状況では Anynet+ は動作しません。(初期設定)• HDMI ケーブルを取り外して再接続したときは、デバイスを再検索するか、製品をオフにして再びオンにしてください。• 当該の Anynet+ デバイスの Anynet+ 機能がオンに設定されているか確認してください。
Anynet+ を開始するには	<ul style="list-style-type: none">• Anynet+ デバイスが製品に適切に接続されているか、また システム メニューで Anynet+ (HDMI-CEC) が オン に設定されているかを確認します。
Anynet+ を終了するには	<ul style="list-style-type: none">• 製品のリモコンの SOURCE ボタンを押して、Anynet+ デバイス以外のデバイスを選択します。
画面に「 Anynet+ デバイスを切断しています... 」とメッセージが表示されます。	<ul style="list-style-type: none">• Anynet+ の設定中または表示モードへの切り替え中には、リモコンを使用できません。• 製品が Anynet+ 設定を完了するか、Anynet+ への切り替えを終了してから、リモコンを使用してください。
Anynet+ デバイスで再生ができない。	<ul style="list-style-type: none">• 初期設定中に再生機能を使用することはできません。
接続したデバイスが表示されない。	<ul style="list-style-type: none">• そのデバイスが Anynet+ 機能をサポートしているか確認してください。• HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。• Anynet+ (HDMI-CEC) メニューで システム が オン に設定されていることを確認します。• Anynet+ デバイスを再度検索してください。• Anynet+ には HDMI 接続が必要です。デバイスと製品が HDMI ケーブルで接続されているか確認してください。• HDMI ケーブルによっては、Anynet+ 機能をサポートしないことがあります。• 電源異常または HDMI ケーブルの切断によって接続が途切れた場合は、デバイスのスキャンを繰り返してください。

一般情報

スマート セキュリティ

Anynet+ (HDMI-CEC)



HDMI ホット プラグ

オン

カスタム ロゴ

オフ

ゲーム モード



空のストレージ

HDMI ホット プラグ

この機能は、DVI/HDMI ソース機器をオンにする際の遅延時間を有効にすると使用します。

- オフ / オン

カスタム ロゴ

製品の電源がオンの時に表示されるカスタム ロゴの選択と表示時間の設定ができます。

- カスタム ロゴ

— カスタム ロゴの選択 (画像/ビデオ) をしたりカスタム ロゴの表示を停止することができます。

— カスタム ロゴを設定するには、外部の USB デバイスからカスタム ロゴをダウンロードする必要があります。

- ロゴ表示時間

— カスタム ロゴが 画像 の場合、ロゴ表示時間 を設定することができます。

- ロゴ ファイルのダウンロード

— カスタム ロゴを外部 USB デバイスから製品にダウンロードすることができます。

— ダウンロードするカスタム ロゴのファイル名はすべて半角の「samsung」として保存する必要があります。

— 複数の外部 USB 接続がある場合、一番最後に製品に接続されたデバイスからカスタム ロゴのダウンロードを試みる仕様になっています。

カスタム ロゴ ファイルの制約

- サイズが最大 50 MB の画像を使用できます。
 - サポートされる画像ファイル: samsung_image.*
 - サポートされるファイルの拡張子: jpg、jpeg、bmp、png
- サイズが最大 150 MB の動画を使用できます。推奨時間は 20 秒未満です。
 - サポートされる動画ファイル: samsung_video.*
 - サポートされるファイルの拡張子: avi、mpg、mpeg、mp4、ts、wmv、asf

– 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

一般情報

スマート セキュリティ

Anynet+ (HDMI-CEC)



HDMI ホット プラグ

オン

カスタム ロゴ

オフ

ゲーム モード



空のストレージ

ゲーム モード

PlayStation™ や Xbox™ などのゲーム機を接続する場合は、ゲーム モードを選択するとよりリアルなゲーム体験が楽しめます。

- オフ(●)/ オン(●)

— ゲーム モード がオンの時に他の外部機器を接続すると、画面の状態が悪くなる場合があります。

空のストレージ

新しいコンテンツ用の空き容量を確保するためにファイルを削除します。最近再生したファイルは削除されません。

— 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

システムのリセット

MENU  → システム → システムのリセット → ENTER 

システム

システムのリセット

— 表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

すべてのシステム設定をデフォルトにリセットします。

第 10 章

サポート

ソフトウェア更新

MENU  → サポート → ソフトウェア更新 → ENTER 

ソフトウェア更新 メニューから製品のソフトウェアを最新バージョンに更新できます。

- 更新が完了するまで電源をオフにしないように注意してください。ソフトウェア更新が完了すると製品はオフになり、また自動的にオンになります。
- ソフトウェアを更新すると、すべてのビデオおよびオーディオの設定はユーザー設定からデフォルトの設定に戻ります。更新後の再設定が簡単にできるように、ユーザーの設定をメモしておくことをお勧めします。

今すぐ更新

ソフトウェアを最新のバージョンに更新します。

- **現在のバージョン**: 製品にすでにインストールされているソフトウェアのバージョンです。

Samsung 連絡先

MENU  → サポート → Samsung 連絡先 → ENTER 

Samsung の Web サイト、コール センターの電話番号、お客様の製品のモデル番号、ソフトウェア バージョン、オープン ソース ライセンスおよび他の情報を確認できます。

- **Samsung 連絡先** に移動して、製品の **モデル コード** と **ソフトウェア バージョン** を確認します。

すべてリセット

MENU  → サポート → すべてリセット → ENTER 

このオプションは、ディスプレイに関するすべての現在の設定を工場出荷時の設定に戻します。

第 11 章

トラブルシューティング ガイド

-
- サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡いただく前に、以下の手順で製品のテストを行ってください。問題が解決しない場合には、サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

-
- 画面に何も映らないままのときには、PC システム、ビデオ コントローラおよびケーブルを確認します。

サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルにお問い合わせいただく前に 行っていたきたいこと

製品のテスト

製品のテスト機能を使用して、製品が正常に動作しているかどうかを確認します。

製品が正しく PC に接続されていて、電源 LED が点滅しているのに画面に何も映らない場合には、製品テストを実施します。

- 1 PC と製品の両方の電源をオフにします。
- 2 製品からすべてのケーブルを外します。
- 3 製品の電源をオンにします。
- 4 **信号なし** と表示される場合には、製品は正常に動作しています。

解像度と周波数の確認

サポートされる解像度を超えるモードが選択されている場合は、**最適なモードが選択されていません** と短時間表示されます（サポートされる解像度を参照）。

症状別 確認事項。

インストールの問題 (PC モード)

画面がオンとオフを繰り返す。	製品と PC との間のケーブル接続を確認し、しっかりと接続されていることを確認します。
HDMI または HDMI-DVI ケーブルで製品と PC を接続しているときは、画面の四辺に空白部分が発生します。	画面に空白部分が発生するのは、製品側の問題ではありません。 PC またはグラフィック カードによって画面の空白部分が発生しています。問題を解決するには、グラフィック カードの HDMI または DVI 設定で画面サイズを調整します。 グラフィック カードの設定メニューに画面サイズを調整するオプションがない場合には、グラフィック カードのドライバを最新バージョンにアップデートします。 (画面設定の調整方法の詳細については、グラフィック カードまたはコンピュータのメーカーにお問い合わせください。)

画面の問題

電源 LED が消灯している。画面がオンにならない。	電源コードが接続されていることを確認します。
信号なし と画面に表示される。	製品がケーブルで正しく接続されていることを確認します。 電源がオンになっている製品に装置が接続されていることを確認します。 外部機器のタイプによっては、画面が正しく表示されない場合があります。この場合、HDMI ホットプラグ 機能を オン にして接続してください。

画面の問題

最適なモードが選択されていません と表示される。	このメッセージは、グラフィック カードからの信号が製品の最大の解像度および周波数を超えている場合に表示されます。 標準の信号モード表を参照して、製品の仕様に従って最大の解像度および周波数を設定します。
画面の画像がゆがんで見える。	製品に接続しているケーブルを確認します。
画面がはっきりしない。画面がぼやけてみえる。	アクセサリ（ビデオの拡張ケーブルなど）を取り外して再度試してみます。 解像度と周波数を推奨のレベルに設定します。
画面が安定せず震えて見える。	PC およびグラフィック カードの解像度と周波数が製品の対応する範囲に設定されていることを確認します。続いて、製品メニューの追加情報および標準信号モード表を必要に応じて参照して、画面の設定を変更します。
画面の画像の左側に影や残像のようなものがある。	
画面が明るすぎる。画面が暗すぎる。	明るさとコントラスト を調整します。
画面の色が正しくない。	映像 に移動して 色空間 設定を調整します。
白が正しく白色に見えない。	映像 に移動して ホワイト バランス 設定を調整します。
画面に画像が表示されず、LED が 0.5～1 秒間隔で点滅する。	製品が省電力モードになっています。 キーボードのキーを押すかマウスを動かすと、前の画面に戻ります。
製品が自動的にオフになる。	システム に移動し、スリープ タイマー が オフ に設定されていることを確認します。 PC が製品に接続されている場合、PC の電源状態を確認します。 電源コードが製品とコンセントに正しく接続されていることを確認します。 接続されている機器からの信号が検出されない場合、製品は 10 ～ 15 分後に自動的にオフになります。

画面の問題

製品の画質が、製品を購入した販売店で画質と異なる。	HDMI ケーブルを使用して高解像度 (HD) の画質を取得します。
画面表示が正常でないように見える。	エンコードされたビデオ コンテンツの場合、スポーツやアクション映画などのように動きの速いシーンでは映像が乱れることがあります。
	信号の出力レベルや画質が低い場合、映像が乱れることがあります。これは製品の不良ではありません。
	半径 1 メートル以内に携帯電話があると、アナログ製品やデジタル製品にノイズが発生することがあります。
明るさと色が正常でないように見える。	映像 に移動して、 映像モード 、 色の濃さ 、 明るさ 、 シャープネス などの画面設定を調整します。
	システム に移動して 省電力 設定を調整します。
	画面の設定をデフォルトに戻します。
線（赤、緑、または青）が画面に表示される。	このような線は、モニター上の DATA SOURCE DRIVER IC に不具合があるときに表示されます。この問題を解決するには、Samsung のサービス センターまでご連絡ください。
表示が不安定でフリーズする。	推奨解像度以外の解像度を使用している場合や信号が不安定の場合、画面がフリーズすることがあります。この問題を解決するには、PC の解像度を推奨解像度に変更します。
画面を全画面表示にできない。	縮小された SD (4:3) のコンテンツ ファイルでは、HD チャンネル画面の両側に黒いバーが表示されることがあります。
	アスペクト比が製品と異なるビデオでは、画面の上下に黒いバーが表示されることがあります。
	画面サイズの設定を製品またはソース機器上で全画面に変更します。

リモコンの問題

リモコンが機能しない。

電池が正しく入れられていることを確認します。

電池が消耗していないかチェックします。

停電していないか確認します。

電源コードが接続されていることを確認します。

近くで特殊な照明またはネオン サインが点灯していないか確認します。

入力信号装置の問題

PC の起動時にビープ音が鳴る。

PC の起動時にビープ音が鳴る場合は、PC の点検修理を行ってください。

その他の問題

製品からプラスチックのような匂いがする。

プラスチックの匂いは正常であり、時間が経つと匂わなくなります。

モニターが傾いているように見える。

スタンドを製品から取り外して、取り付け直します。

音声または映像が途切れる。

ケーブルの接続状態を確認し、必要に応じて接続し直します。

硬すぎるケーブルや太すぎるケーブルを使用すると、オーディオ ファイルやビデオ ファイルが破損することがあります。

柔軟性および耐久性のあるケーブルを使用してください。製品を壁に取り付けるときには、ライトアングル ケーブルの使用をお勧めします。

製品の端に小さな粒子が見える。

この粒子は製品の仕様です。不具合ではありません。

その他の問題

PC の解像度を変更しようとする、「 定義された解像度は現在をサポートされていません。 」というメッセージが表示される。	<p>「定義された解像度は現在をサポートされていません。」というメッセージは、入力ソースの解像度がモニターの最大解像度を超えた場合に表示されます。</p> <p>この問題を解決するには、PC の解像度をモニターでサポートされている解像度に変更します。</p>
DVI-HDMI ケーブルを接続すると、HDMI モードでスピーカーから音声聞こえない。	<p>DVI ケーブルからは音声データは送信されません。</p> <p>音声を出力するには、オーディオ ケーブルを正しい入力ジャックに接続します。</p>
YCbCr 出力に対応している HDMI 機器で HDMI 階調レベル が正しく機能していない。	<p>この機能は、DVD プレイヤーや STB などのソース機器を HDMI (RGB 信号) ケーブルを使用して製品に接続している場合にのみ使用できます。</p>
HDMI モードで音声聞こえない。	<p>画像の色が正しく表示されないことがあります。映像や音声を使用できないことがあります。この現象は、新しい HDMI 規格に対応していないソース機器を製品に接続している場合に起こります。</p> <p>この問題が起こった場合、HDMI ケーブルとオーディオ ケーブルの両方を接続してください。</p> <p>PC のグラフィック カードの種類によっては、音声を含まない HDMI 信号は自動では認識されないことがあります。このような場合、音声入力を手動で選択してください。</p>
HDMI-CEC が機能しない。	<p>本製品では HDMI-CEC 機能はサポートしていません。</p> <p>HDMI-CEC 機能に対応した複数の外部機器を本製品の HDMI 1 と HDMI 2 ポートに接続して使用するには、すべての外部機器の HDMI-CEC 機能をオフにします。外部機器には、Blu-ray プレイヤーや DVD プレイヤーなどが含まれます。</p> <p>外部機器を操作するときに HDMI-CEC 機能を有効にしておくと、他の外部機器が自動的に停止する場合があります。</p> <p>HDMI-CEC の設定を変更する場合、該当機器のユーザー ガイドを参照するか、メーカーに問い合わせてください。</p>

Q & A

質問

周波数の変更方法は?

-
- 調整の詳細な手順については、ご使用の PC またはグラフィック カードのユーザー マニュアルを参照してください。

回答

グラフィック カードで周波数を設定します。

- Windows XP: コントロール パネル → デスクトップの表示とテーマ → 画面 → 設定 → 詳細設定 → モニタを選択し、モニタの設定の周波数を調整します。
- Windows ME/2000: コントロール パネル → 画面 → 設定 → 詳細 → モニタを選択し、モニタの設定の周波数を調整します。
- Windows Vista: コントロール パネル → デスクトップのカスタマイズ → 個人設定 → 画面の設定 → 詳細設定 → モニタを選択し、モニタの設定の周波数を調整します。
- Windows 7: コントロール パネル → デスクトップのカスタマイズ → 画面 → 解像度の調整 → 詳細設定 → モニタを選択し、モニタの設定の周波数を調整します。
- Windows 8: 設定 → コントロール パネル → デスクトップのカスタマイズ → 画面 → 解像度の調整 → 詳細設定 → モニタを選択し、モニタの設定の周波数を調整します。
- Windows 10: 設定 → システム → ディスプレイ → 高度な設定 → アダプターのプロパティの表示 → モニターと進み、モニター設定の下に表示された画面のリフレッシュ レートを調節します。

解像度の変更方法は?

- Windows XP: コントロール パネル → デスクトップの表示とテーマ → 画面 → 設定 で解像度を調整します。
 - Windows ME/2000: コントロール パネル → 画面 → 設定 で解像度を調整します。
 - Windows Vista: コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 個人設定 → 画面の設定 で解像度を調整します。
 - Windows 7: コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 画面 → 解像度の調整 で解像度を調整します。
 - Windows 8: 設定 → コントロール パネル → デスクトップのカスタマイズ → 画面 → 解像度の調整を選択し、解像度を調整します。
 - Windows 10: 設定 → システム → ディスプレイ → 高度な設定と進み、解像度を調節します。
-

質問

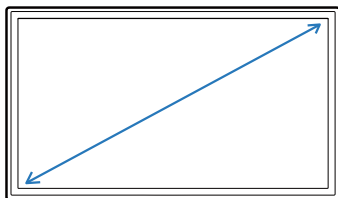
省電力モードの設定方法は?

回答

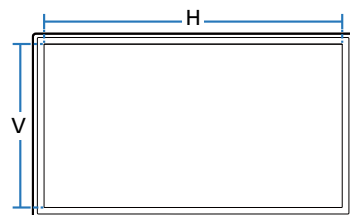
- Windows XP: コントロール パネル → デスクトップの表示とテーマ → 画面 → スクリーン セーバーの設定 または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。
 - Windows ME/2000: コントロール パネル → 画面 → スクリーン セーバーの設定 または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。
 - Windows Vista: コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 個人設定 → スクリーン セーバーの設定 または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。
 - Windows 7: コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 個人設定 → スクリーン セーバーの設定 または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。
 - Windows 8: 設定 → コントロール パネル → デスクトップのカスタマイズ → 個人設定 → スクリーン セーバーの設定または PC の BIOS 設定で省電力モードを設定します。
 - Windows 10: 節電モードを設定するには、設定 → 個人用設定 → ロック画面 → スクリーン タイムアウト設定 → 電源&スリープ、または PC の BIOS 設定より行います。
-

第 12 章 仕様

－ サイズ



－ 表示範囲



全般



<https://www.galaxymobile.jp/support/>

モデル名

OH75A

パネル	サイズ	75 クラス (74.5 インチ / 189.2 cm)
	表示範囲	1649.664 mm (H) x 927.936 mm (V)
電源	電源	AC100-240V~ 50/60Hz
		標準電圧は国によって異なりますので、製品背面のラベルを参照してください。
環境条件	動作時	温度 : -30 °C - 50 °C (-22 ° F - 122 ° F) * ハウジングを取り付ける場合は内部温度が 40 °C 以下に維持できるようにしてください。 湿度 : 10% - 80%、結露しないこと *屋外でのご使用時は、屋外モードをONしてください。(結露防止)
	保管時	温度 : -20 ° C - 50 ° C (-4 ° F - 122 ° F) 湿度 : 5% - 95 %、結露しないこと

-
- プラグ & プレイ
このモニターは、プラグ & プレイ互換システムにインストールして使用することができます。モニターと PC システムとの双方向のデータ交換により、モニターの設定を最適化します。モニターのインストールは自動的に行われます。ただし、必要に応じてインストール設定をカスタマイズすることができます。
 - この製品の製造上の特質によって、パネルに表示される映像の中に約 100 万個に 1 個の割合 (1ppm) でピクセルが通常よりも明るく、または暗く表示される場合があります。これは製品の性能に影響を与えるものではありません。
 - 装置仕様の詳細については、Samsung の Web サイトを参照してください。

プリセット タイミング モード

この製品は、パネルの特性に応じて最適な画質を得るために、各画面サイズについて 1 種類の解像度のみ設定することができます。指定以外の解像度を使用すると、画質が低下することがあります。これを避けるには、お使いの製品について指定された最適な解像度を選択することをお勧めします。

モデル名		OH75A
同期	水平周波数	15 – 81 kHz (HDMI), 30 – 135 kHz (DP)
	垂直周波数	24 – 75 Hz (HDMI), 30 – 75 Hz (DP)
解像度	最適解像度	3840 x 2160 (60 Hz)
	最大解像度	

以下の規格の信号モードに含まれる信号が PC から送信されてきた場合には、画面は自動的に調整されます。PC から送信される信号が標準の信号モードに含まれるものではない場合、電源 LED が点灯していても画面には何も表示されません。この場合には、グラフィック カードのユーザー マニュアルを参照して、以下の表に従って設定を変更してください。

- 水平周波数

1 本の線を画面の左から右にスキャンするのに必要な時間を水平サイクルと呼びます。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数は kHz 単位で測定します。
- 垂直周波数

本製品は、ひとつの画像を（蛍光灯のように）1 秒間に何回も表示して、画面に映像を表示します。ひとつの画像が 1 秒間に繰り返し表示される回数を垂直周波数またはリフレッシュ レートと呼びます。垂直周波数は Hz 単位で測定します。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM, 720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
MAC, 640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC, 832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC, 1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA, 640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
VESA, 640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA, 640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA, 800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA, 800 x 600	37.879	60.317	40.00	+/+
VESA, 800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA, 800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA, 1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA, 1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA, 1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA, 1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA, 1280 x 720	45.000	60.000	74.250	+/+


解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
VESA, 1280 x 800	49.702	59.810	83.500	-/+
VESA, 1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA, 1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA, 1366 x 768	47.712	59.790	85.500	+/+
VESA, 1440 x 900	55.935	59.887	106.500	-/+
VESA, 1600 x 900	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA, 1680 x 1050	65.290	59.954	146.250	-/+
VESA, 1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+

第 13 章 付録

サムスン製品に関するお問合せ

― 詳細については、Web サイトからユーザー マニュアルをダウンロードしてください。

サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤル

 0120-327-527

受付時間: 平日(土・日・祝日を除く) 9:00—17:00

― 予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

有料サービスに関する責任（お客様の負担）

― サービスをご希望の場合、以下の条件に該当するときは、保証内容に関わらず、サービス技術者の出張費をいただくことがあります。

製品に異常がない場合

製品の清掃、調整、説明、再設置など

- ・ サービス技術者が、製品の使用方法の説明、または、製品の分解を必要としないオプション類の調整を行う場合
- ・ 外部環境（インターネット、アンテナ、有線信号など）による異常の場合
- ・ 購入後に初めて製品を設置した後に、製品の再設置や追加のデバイスの接続を行う場合
- ・ 別の場所や別の家に製品を再設置する場合
- ・ 他社製品の使用方法に関する説明をお求めの場合
- ・ ネットワークまたは他社のプログラムの使用方法に関する説明をお求めの場合
- ・ 製品に対するソフトウェアのインストールやセットアップをお求めの場合
- ・ サービス技術者が製品内部のホコリや異物の除去または清掃を行う場合
- ・ 製品を通信販売やインターネット ショッピングで購入後、追加で設置作業をお求めの場合

お客様の過失によって製品が損傷した場合

お客様の誤った使用または修理による製品の損傷

以下の場合、製品が損傷することがあります。

- ・ 外部から衝撃を加えたり、落としたりした場合
- ・ Samsung の認証を受けていないサプライ品または別売り製品を使用した場合
- ・ Samsung Electronics Co., Ltd. の依頼サービス会社や協力会社の技術者以外の者が修理を行った場合
- ・ お客様自身で製品の改造や修理を行った場合
- ・ 規定外の電圧や電源を使用した場合
- ・ ユーザー マニュアルに記載されている“注意”を守らなかった場合

その他

- ・ 製品が自然災害で故障した場合。（落雷、火災、地震、洪水被害など）
- ・ 消耗部品をすべて使い切った場合。（バッテリー、トナー、蛍光灯、ヘッド、バイブレータ、ランプ、フィルタ、リボンなど）

― 製品に異常がないにも関わらずサービスをお求めの場合、別途サービス料金が発生することがあります。まずはユーザー マニュアルをお読みください。

残像の焼き付き防止

残像の焼き付きとは?

パネルが通常動作していれば、残像の焼き付きは発生しません。通常動作とは、ビデオパターンが連続して変化していることを意味します。パネルに静止したパターンを長時間表示すると、液晶を制御するピクセルの電極間にわずかな電圧の差が生じる場合があります。

このような電極間の電圧の差は時間の経過と共に拡大し、液晶は薄くなります。このような状態が発生すると、パターンが変化した後も前の画像が画面上に残ることがあります。

- ❌ 本情報は残像の焼き付きを防止するためのアドバイスです。静止画面を長時間表示し続けると、残像の焼き付きが起こることがあります。この問題は保証の対象外です。

推奨される防止策

静止画面を長時間表示し続けると、残像の焼き付きや染みが発生することがあります。製品を長時間使用しない場合は、電源をオフにするか、節電モードまたはスクリーンセーバーを有効にしてください。

- 色を定期的に変更してください。



- 文字色と背景色に対照的な明るさの色を使用することは、避けてください。

— 対照的な明るさの色の使用は避けてください（白と黒、グレーと黒）。



ライセンス



Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

Open Source License Notice

Open Source used in this product can be found on the following webpage (<https://opensource.samsung.com>).



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI trade dress and the HDMI Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.

用語

480i / 480p / 720p / 1080i / 1080p__ 上記の各走査時間は、画面の解像度を決定する有効走査線数を示します。走査時間は、走査方法によって i (インターレース) または p (プログレッシブ) で表示されます。

- 走査

走査は、画像を順次構成するピクセルの送信プロセスを意味します。ピクセルの数が多いほど、より明確で鮮明な映像が実現します。

- プログレッシブ

プログレッシブ走査モードでは、画面上のピクセルのすべての線を 1 つずつ (順次) 走査します。

- インターレース

インターレース走査モードでは、まずピクセルの線を 1 本おきに上から下に、続いて (先に走査されなかった) 残りのピクセルを走査します。

ノンインターレース モードおよびインターレース モード__ ノンインターレース モード (プログレッシブ スキャン) では、水平線が画面の上から下へ順に表示されます。インターレース モードでは、奇数線が先に表示され、続いて偶数線が表示されます。ノンインターレース モードは主にモニターの画面を明確に表示させたい場合に、インターレース モードは主に TV で使用されます。

ドット ピッチ__ 画面は、赤、緑、青のドットで構成されています。ドット間の距離が短いほど高解像度になります。ドット ピッチは、同色のドット間の最小距離間の距離を意味します。ドット ピッチはミリメートル単位で測定します。

垂直周波数__ 製品上に (蛍光灯の点滅のように) 1 秒間に何度も単一画像を表示することで、見る人に 1 つの画像として認識されます。ひとつの画像が 1 秒間に繰り返して表示される回数を垂直周波数またはリフレッシュレートと呼びます。垂直周波数は Hz 単位で測定します。

例: 60 Hz は、1 つの画像が 1 秒間に 60 回表示されることを示します。

水平周波数__ 1 本の線を画面の左から右にスキャンするのに必要な時間を水平サイクルと呼びます。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数は kHz 単位で測定します。

ソース__ 入力信号は、カムコーダー、ビデオ、DVD プレーヤーといった本製品に接続されたビデオ入力デバイスです。

プラグ & プレイ__ プラグ & プレイは、最適なディスプレイ環境を得るためのモニターと PC 間の情報の自動交換を可能にする機能です。本製品では VESA DDC (国際規格) を使用してプラグ & プレイを実行しています。

解像度__ 解像度は、画面を構成する水平方向のドット (ピクセル) と垂直方向のドット (ピクセル) の数です。ディスプレイの精細度を意味します。解像度が高いほどより多くのデータを画面上に表示することが可能で、さらに同時に複数のタスクを実行するのにも役立ちます。

例: 解像度 1920 X 1080 は、水平方向に 1,920 のピクセル (水平解像度) と垂直方向に 1,080 のピクセル (垂直解像度) で構成されています。

DVD (デジタル多用途ディスク)__ DVD は、MPEG-2 ビデオ圧縮技術を使用してマルチメディア (オーディオ、ビデオ、ゲーム) を保存できる、CD サイズの大容量保存ディスクです。

HDMI (高解像度マルチメディア インターフェイス)__ 圧縮技術によらず、1 本のケーブルでデジタル オーディオソースと高解像度ビデオ ソースに接続可能なインターフェイスです。

マルチディスプレイ コントロール (MDC)__ MDC (マルチディスプレイ コントロール) は、PC を使用して複数の表示デバイスを同時に制御するアプリケーションです。PC とモニター間の通信は RS232C (シリアルデータ転送) および RJ45 (LAN) ケーブルを経由して行われます。